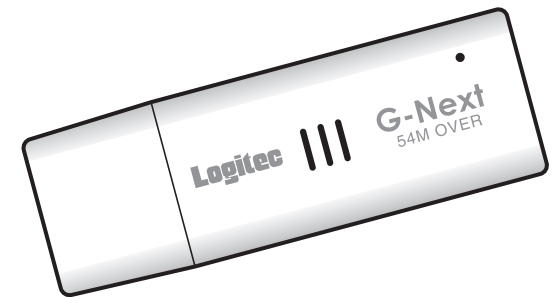
Wireless LAN Adapter

IEEE802.11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ

LAN-WN11/U2シリーズ

User's Manual for Windows

Windows版ユーザーズマニュアル

このマニュアルは、別冊の「かんたんセットアップガイド」とあわせてお読みください。

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用　語	意　味
本製品	無線LANアダプタ「LAN-WN11/U2シリーズ」を称して「本製品」と表記しています。
11n（Draft）	IEEE802.11n規格のDraft版を「11n（Draft）」、IEEE802.11g規格を「11g」、IEEE802.11b規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルータ	無線LANブロードバンドを略して「無線ルータ」と表記しています。
無線親機	無線ルータと無線LANアクセスポイントをあわせて「無線親機」と表記しています。
無線子機	PCカードタイプの無線LANカード、無線LAN USBアダプタの総称である「無線アダプタ」を、「無線子機」と表記しています。
無線クライアント	無線子機や携帯ゲーム端末、情報端末など、無線親機に接続する無線機器を総称して「無線クライアント」と表記しています。
有線クライアント	LANアダプタ（イーサネットアダプタ）を持ったパソコンのことを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

IEEE802.11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ

LAN-WN11/U2シリーズ

User's Manual for Windows

Windows版ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、ロジテックの無線LANアダプタ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、無線LANアダプタを使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が無線LANアダプタを安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

このマニュアルについて

このマニュアルは、LAN-WN11/U2、LAN-WN11/U2DS、LAN-WN11/U2PSP、LAN-WN11/U2IPH 共通のマニュアルとなっています。

●LAN-WN11/U2 をご使用の方

本製品を無線親機（無線ルータや無線 AP）と接続する一般的な設定方法については、付属の紙版マニュアル「かんたんセットアップガイド」をお読みください。

・ソフトウェア AP モードを使用したいときは、Chapter4「ソフトウェア AP モード編」をお読みください。
・本製品を、DS や PSP、iPhone 3G などと接続するために使用したい場合は、P80 付録編「1. 本製品のさまざまな使い方」をお読みください。

●LAN-WN11/U2DS をご使用の方

このマニュアルは、おもに「LAN-WN11/U2DS」のセキュリティ機能を使用する場合にお読みください。DS および Wii と接続する方法については、付属の紙版マニュアル「かんたんセットアップガイド」をお読みください。

・本製品を一般的な無線子機（USB 無線アダプタ）として使用したいときは、このマニュアルをお読みください。
・本製品を、一般的な無線子機、PSP、iPhone 3G などと接続するために使用したい場合は、P80 付録編「1. 本製品のさまざまな使い方」をお読みください。

●LAN-WN11/U2PSP をご使用の方

このマニュアルは、おもに「LAN-WN11/U2PSP」のセキュリティ機能を使用する場合にお読みください。PSP と接続する方法については、付属の紙版マニュアル「セットアップガイド」「PSP & XLlink Kai 設定ガイド」をお読みください。

・本製品を、一般的な無線子機、DS/Wii、iPhone 3G などと接続するために使用したい場合は、P80 付録編「1. 本製品のさまざまな使い方」をお読みください。

●LAN-WN11/U2IPH をご使用の方

このマニュアルは、おもに「LAN-WN11/U2IPH」のセキュリティ機能を使用する場合にお読みください。iPhone 3G および iPod touch と接続する方法については、付属の紙版マニュアル「かんたんセットアップガイド」をお読みください。

・本製品を、一般的な無線子機、DS/Wii、PSP などと接続するために使用したい場合は、P80 付録編「1. 本製品のさまざまな使い方」をお読みください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警　告	**この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。**
注　意	**この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。**

警　告

本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

本製品を取り付けたパソコン本体から発煙や異臭がしたときは、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を取り付けたパソコン本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに使用を中止したうえで電源を切り、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店もしくは当社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

本製品を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注　意

本製品の取り付け、取り外しのときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

本製品の取り付け、取り外しのときは、本製品に触れる前に金属性のもの（スチールデスク、ドアのノブなど）に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。

本製品および本製品を取り付けたパソコン本体を次のようなところで使用しないでください。
・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
・直射日光のあたるところ
・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
・静電気の発生するところ、火気の周辺

長期間、本製品を取り付けたパソコン本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。
そのまま使用すると、故障の原因になります。

無線LANをご使用になるにあたってのご注意

●無線LANは無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線LANをご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線LANを使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。

●本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。

・本製品を分解したり、改造すること
・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
・本製品を日本国外で使用すること

これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。

●心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線LANシステムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。

●電子レンジの近くで本製品を使用すると無線LANの通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

Chapter 1

概 要 編

1 製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間
保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲
次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、保証書に記載された保証規定をお確かめください。

●その他のご質問などに関して
別冊の「かんたんセットアップガイド」の「サポートサービスについて」をお読みください。

2 サポートサービスについて

下記のロジテック・テクニカルサポートへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報につきましては、インターネットでも提供しております。

ロジテック ホームページ　http://www.logitec.co.jp/

弊社Webサイトより、ユーザー登録いただくことをお勧めします。
登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

ロジテック・テクニカルサポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-050-060　　FAX：0570-033-034
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～19:00　※FAXによる受付は24時間対応しております。
（ただし，夏期，年末年始の特定休業日，祝日は除きます）

本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また弊社では海外使用に関する、いかなるサービス、サポートも行っておりません。

●テクニカルサポートにお電話、FAXされる前に
お手数ですが、テクニカルサポートにお電話される前に、次の項目について確認してください。
◆お電話される前に、パソコンを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
◆対象製品が取り付けられたパソコンの前から会話が可能な場合は，パソコンの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
◆FAXを送られる場合は，詳しい内容を書いた書面を添えて送付いただくと解決しやすくなります。

お調べいただきたい内容
◆ネットワーク構成
・使用しているネットワークアダプタ　・使用しているOS
・使用しているパソコンのメーカおよび型番
・ネットワークを構成するパソコンの台数とOSの構成
・ネットワークを構成するその他の関連機器（ハブ、ルータなど）
◆具体的な現象，事前にお客様が試みられた事項（あればお伝えください）

3 本製品の概要について

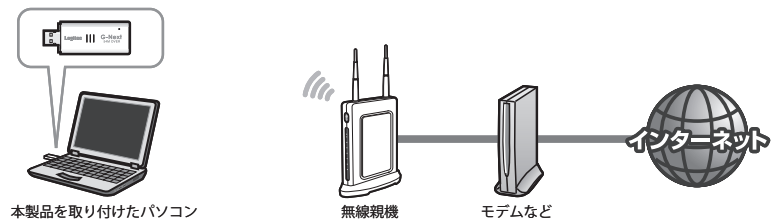
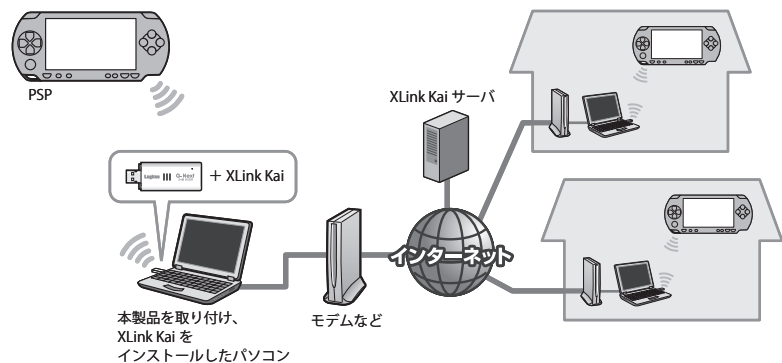
本製品の特長

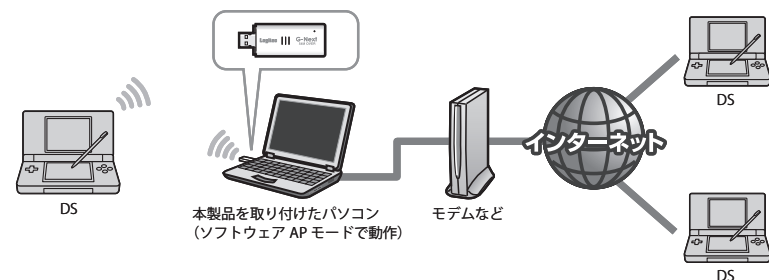
●セットアップが簡単で、すぐに無線LANが使える

「かんたんセットアップガイド」の説明に従って作業を進めるだけで、簡単にセットアップが完了し、無線親機（無線ルータや無線AP）と接続できるようになります。

●使用目的にあわせて選べる4製品をご用意

パソコンから無線親機と接続するための汎用USB無線アダプタ「LAN-WN11/U2」をはじめ、パソコンを有線LANで接続し、さらにパソコンのUSBポートに本シリーズを取り付けることで、無線LANが活用できるモデルなど、合計4製品をラインアップしています。

◆パソコンから無線親機と接続するための汎用USB無線アダプタ「LAN-WN11/U2」

◆XLink Kaiを使ってPSPからインターネット経由で対戦ゲームなどが楽しめる「LAN-WN11/U2PSP」

世界中の人たちと、対戦ゲームなどを楽しめます！

◆DS LiteやWiiのWi-Fi接続を利用した、インターネット経由で対戦ゲームが楽しめる「LAN-WN11/U2DS」

◆iPhone 3GおよびiPod touchのWi-Fi接続をして、インターネット接続が楽しめる「LAN-WN11/U2IPH」

4製品は設定を変更することで、いずれの利用方法も楽しむことができます。

●ロジテック独自の高速通信「G-Next」に対応

ロジテック独自の高速通信を実現する「G-Next」を搭載し、11n（Draft2.0）または「G-Next」に対応した無線ルータなどの無線親機との組み合わせで、150Mbps（理論値）という高速データ転送が可能です。

●ソフトウェアAPモードを搭載

本製品を無線子機（クライアントモード）ではなく、無線APとして利用できる「ソフトウェアAPモード」を搭載しています。このモードに切り替えることで、DSなどのゲーム機やiPhone 3Gなどと、Wi-Fi接続が可能です。

※LAN-WN11/U2DSおよびLAN-WN11/U2IPHは、工場出荷時のモードが「ソフトウェアAPモード」で出荷されています。

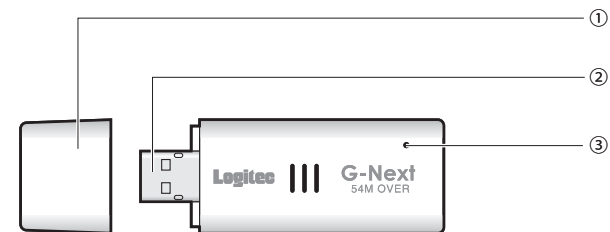
●WPS機能に対応した無線LAN設定方式を採用
クライアントモード使用時は、「ボタン方式」または「PIN方式」の2種類の方法で、面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線LAN接続を設定できる「WPS」機能を利用できます。

●伝送方式にOFDM方式を採用
G-Next/11gは、伝送方式にOFDM（Orthogonal Frequency Division Multiplexing＝直交周波数分割多重）方式を採用しています。この方式はデータを多重化して送信するマルチキャリア伝送方式で伝送特性の劣化を軽減することができ、安定したデータ伝送を可能にする伝送方式です。
※IEEE802.11b（11Mbps）はDS-SS方式（直接拡散スペクトラム方式）を採用しています。

●各種無線セキュリティ機能に対応
新しい規格であるWPA-PSK/WPA2-PSKに対応しています。WPAでは、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、従来からあるWEP（128/64bit）にも対応しています。

●プロファイル機能を搭載
接続先ごとに無線LAN設定を変更しないで済むように、設定を保存できるプロファイル機能を搭載しています。会社や自宅と外出先での設定の切り替えはもちろん、認証方式の保存にも役立ちます。

4 各部の名称とはたらき

LAN-WN11/U2シリーズの各製品は、外観デザインが異なるだけで各部の名称とはたらきは共通です。ここでは、LAN-WN11/U2を使って各部の機能を説明しています。

番号	名称	はたらき
①	保護キャップ	未使用時にUSBコネクタを保護するキャップです。
②	USBコネクタ	パソコンのUSBポートに接続します。
③	Link/Activityランプ（緑色）	点灯：本製品の電波出力がオフの状態です。
		点滅：無線親機とリンクしています。 消灯：無線親機とリンクできていません。

Chapter 2

導 入 編

まず、ここをお読みください！

ここでは、本製品をパソコンのUSBポートに取り付け、無線親機と接続するための導入手順を説明しています。各専用モデルがそれぞれの機器を接続するための導入手順については、必ず各製品に付属の紙版マニュアル「かんたんセットアップガイド」等をお読みください。

1 ソフトウェアのインストール

付属のCD-ROMから必要なソフトウェアとドライバをインストールします。

ソフトウェアのインストールが完了するまで、本製品をパソコンに接続しないでください。ソフトウェアをインストールする前に本製品を接続すると正常に動作しません。

1 本製品を接続するパソコンを起動します。起動時は、ご使用のOSにあわせて、以下の権限を持つユーザーでログオンしてください。

●Windows Vistaの場合
→「管理者（Administrator）」権限を持つユーザーアカウントでログオン

●Windows XP の場合
→「コンピュータの管理者」権限を持つユーザーでログオン

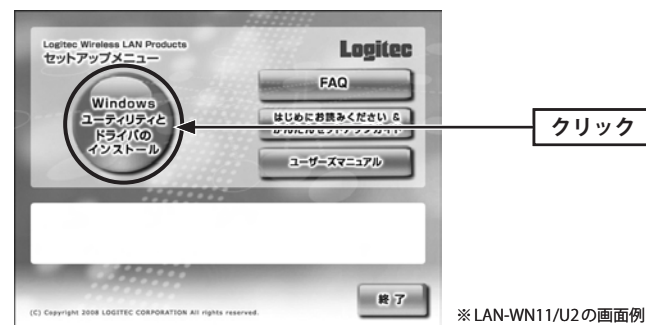
●Windows 2000 の場合
→「Administrator」の権限を持つユーザーでログオン

ユーザー権限は、「コントロールパネル」のユーザーアカウントで調べることができます。もし、ログオン中のアカウントに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるアカウントで再ログオンしてください。現在のユーザーの権限の確認方法は、P102「補足1：Windowsのユーザー権限の確認方法」をお読みください。

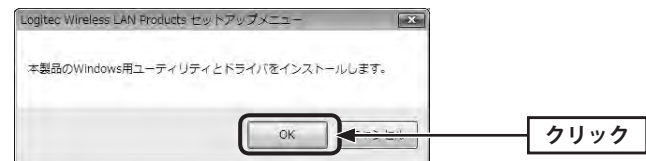
2 付属のCD-ROMをドライブにセットします。

・自動的に「セットアップメニュー」が表示されます。

「セットアップメニュー」が表示されない場合
マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「menu（.exe）」アイコンをダブルクリックします。
Windows Vistaで自動再生画面が表示された場合は、「menu.exeの実行」をクリックします。〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されますので、［許可］をクリックします。

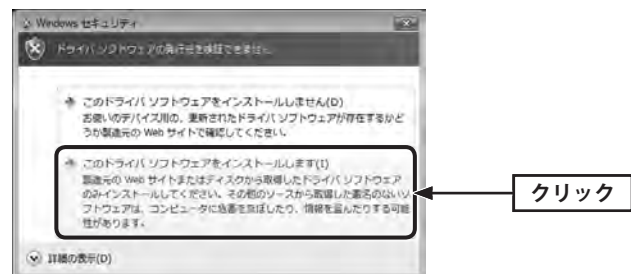
3 ［Windowsユーティリティとドライバのインストール］をクリックします。

※LAN-WN11/U2の画面例

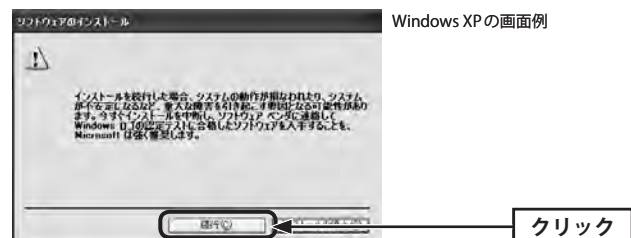
メニュー画面について
ここでは汎用モデルの「LAN-WN11/U2」の例を説明しています。「LAN-WN11/U2PSP」では、Windows VistaでXLink Kaiを使用するためのインストールボタンがあります。

4 インストールを確認するメッセージが表示されますので、OK をクリックします。

5 インストール をクリックします。

・インストールが始まります。

6 **以下の画面が表示された場合は、説明を読んでインストール作業を続けます。**

●Windows Vistaの場合

・[このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックします。

●Windows XP/2000の場合

Windows XPの画面例

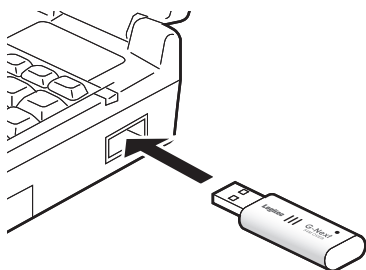
・Windows XPでは 続行 をクリックします。
・Windows 2000では「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されますので、 はい をクリックします。

7 **インストール完了のメッセージが表示されますので、 完了 をクリックします。**

8 **これでソフトウェアのインストールは完了です。ドライブからCD-ROMを取り出し、次ページ「2. 本製品を取り付ける」へ進みます。**

2 本製品を取り付ける

本製品をパソコンに取り付けます。なお、初めて本製品をパソコンに接続するときは、あらかじめソフトウェアのインストール（→P18）が必要です。

1 パソコンに電源が入った状態で、パソコンのUSBポートに本製品を接続します。

2 ご使用のOSによって、このあとの手順が異なります。

●Windows Vistaの場合

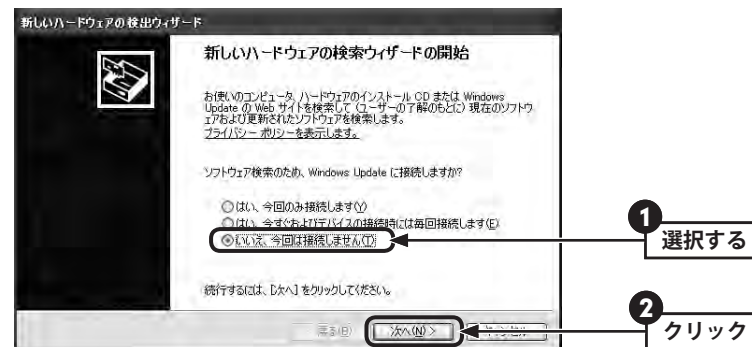
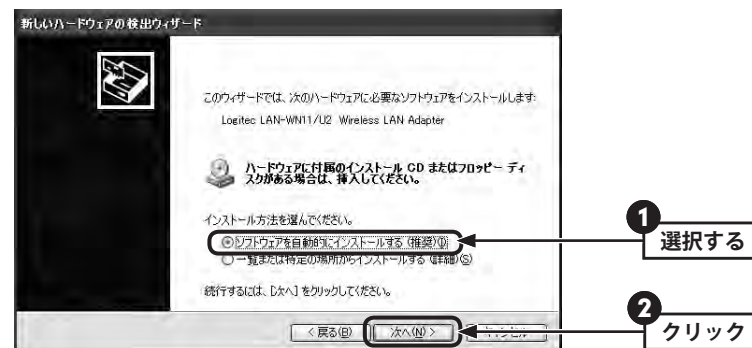
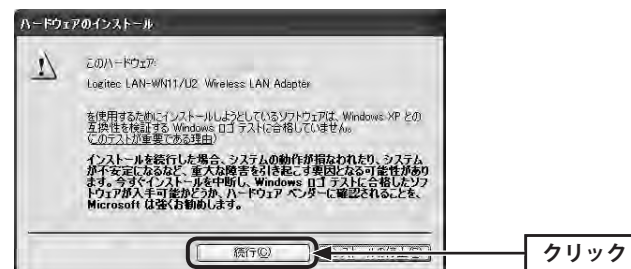
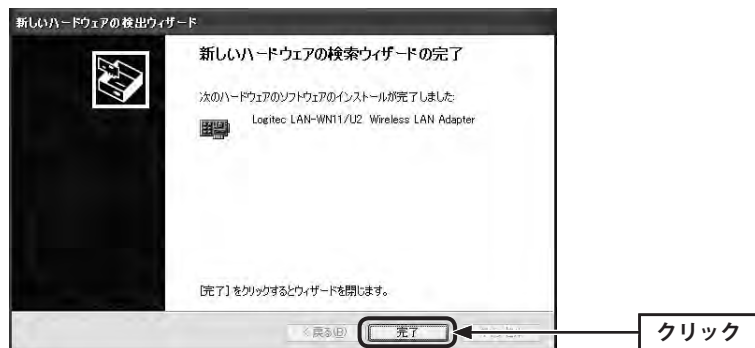
しばらくすると、自動的にドライバのインストールが完了します。手順 7 へ進みます。

●Windows 2000の場合

「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、［はい］をクリックします。手順 7 へ進みます。

●Windows XPの場合

インストール画面が表示された場合は、手順 3 へ進みます。表示されなかった場合は、手順 7 へ進みます。

3 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、［次へ］をクリックします。

4 「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、［次へ］をクリックします。

5 以下の画面が表示された場合は、［続行］をクリックします。

6 **「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されますので、 完了 をクリックします。**

7 **デスクトップ画面の右下にある「タスクトレイ」に「クライアントユーティリティ」のアイコンが表示されていることを確認します。**

クライアントユーティリティのアイコン

●製品ごとのアイコン表示について

ここでは汎用モデルの「LAN-WN11/U2」の例を説明しています。初期値が「ソフトウェアAPモード」のモデルでは、異なるアイコンが表示されます。左のアイコンはリンクが確立していない状態（赤色で表示）、右のアイコンはリンクが確立している状態です（白色＋水色で表示）。

アイコン	説明
	クライアントモード時のアイコン
	ソフトウェアAPモード時のアイコン

●再起動のメッセージが表示されたとき

パソコンによっては再起動を促されますが、アイコンが表示されることを確認するまでは再起動しないでください。

8 **これで本製品の接続と、ドライバのインストールは完了です。次ページ「3. 無線LANで接続する」へ進みます。**

3 無線LANで接続する

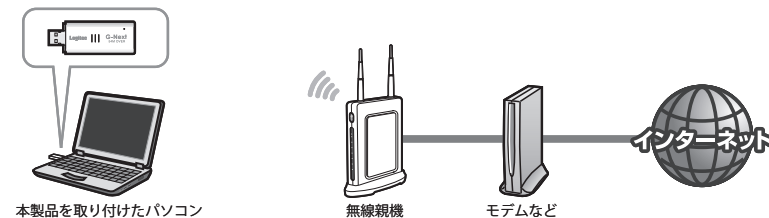
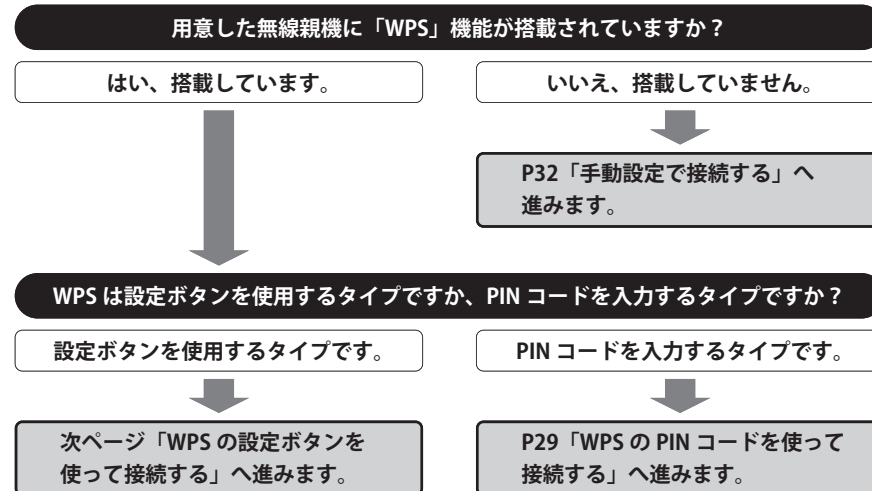
用意した無線親機を経由して、本製品からインターネットに接続できるようにします。これらの機器に「WPS」機能が搭載されているか、いないかで接続方法が異なります。

無線LANへの接続方法を決める

用意した無線親機に「WPS」機能が搭載されていますか？

- **はい、搭載しています。** → 下へ
- **いいえ、搭載していません。** → **P32「手動設定で接続する」へ進みます。**

WPSは設定ボタンを使用するタイプですか、PINコードを入力するタイプですか？

- **設定ボタンを使用するタイプです。** → **次ページ「WPSの設定ボタンを使って接続する」へ進みます。**
- **PINコードを入力するタイプです。** → **P29「WPSのPINコードを使って接続する」へ進みます。**

WPS機能について

Wi-Fiアライアンスの新しい規格です。WPS機能を搭載する無線LAN製品同士を接続する場合に、WPS機能を使ってセキュリティを含む無線LAN設定を自動的におこなって、すぐに使えるようにする機能です。WPS機能には、無線親機と無線子機のそれぞれに装備されたWPS用の「設定ボタン」を押すタイプと、「PINコード」と呼ばれる8桁の数字を入力するタイプの2種類があります。面倒なセキュリティ機能も含めて自動的に設定できますので、わずらわしかった無線LAN設定から一気に解放されます。

WPSの設定ボタンを使って接続する

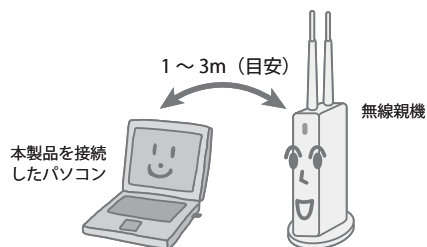
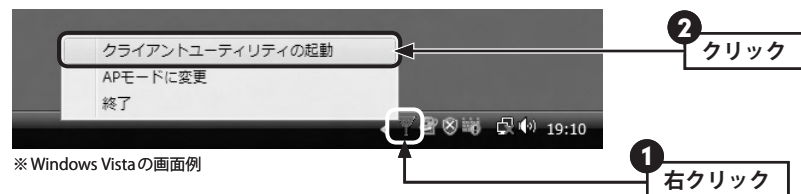
WPS機能のうち、本製品と無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を使って、無線親機に接続します。

1 設定をはじめる前に、無線親機のWPS用の「設定ボタン」の場所を確認しておきます。

・それぞれの機器の説明書をお読みください。

WPS用の「設定ボタン」について

ご使用になる機器によっては、WPSボタンがハードウェアボタンとしては装備されておらず、設定ユーティリティ上のソフトウェアボタンをクリックする製品があります。それぞれの機器の説明書でご確認ください。

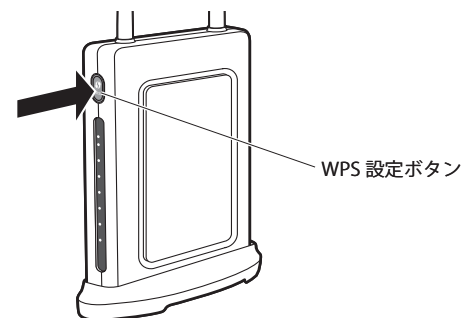
2 本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。

3 デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「クライアントユーティリティ」のアイコンを右クリックし、［クライアントユーティリティの起動］をクリックします。

※ Windows Vistaの画面例

・クライアントユーティリティの画面が表示されます。

4 ツールバーの［WPS］アイコンをクリックします。

・〈WPS〉画面が表示されます。

5 無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。

◆弊社製無線ルータ「LAN-WN12/R」の例

・弊社製のWPS対応無線ルータをご使用の場合は、「WPS設定ボタン」を1秒以上、しっかりと押して離します。
・他社製品のWPS用の「設定ボタン」を押す時間につきましては、それぞれの機器の説明書をお読みください。

無線親機側がWPS用の信号を送信する時間は限られています。指定された時間以内に本製品の「設定ボタン」を押さないと接続できません。設定時間を過ぎた場合は、手順 5 6 をくり返してください。

6 〈WPS〉画面の WPS をクリックします。

7 正しく接続できると、ステータスに「Progress >> 100%」と表示されます。

※リストに表示されている情報は例です。実際にご使用の環境で表示される内容とは異なります。

接続がうまくいかないとき

●100%にならない場合は、手順 5 ～ 7 をくり返してください。

●100%になっても無線通信できない場合、「WPS プロファイルリスト」にある接続先のSSID（弊社製無線ルータをご使用の場合は“logitecuser”）を選択し、画面右側の 接続 をクリックしてください。

8 これで無線親機との接続作業は完了です。P45「4. インターネットに接続する」へ進みます。

・クライアントユーティリティの右上にある ✕ をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P26 手順 3 ）。

プロファイル機能について

本製品を接続したパソコンで、複数の無線親機に接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。〈WPS〉画面の プロファイルを追加 をクリックします。プロファイル機能の詳しい説明は、P52「プロファイルの登録方法」をお読みください。

WPSのPINコードを使って接続する

WPS機能のうち、本製品と無線親機に搭載されたWPS用の「PINコード」を使って、無線親機に接続します。

無線親機側に設定されたPINコードを無線アダプタに入力する方法と、無線アダプタ側に設定されたPINコードを無線親機に入力する方法があります。ここでは無線親機側に設定されたPINコードを本製品に入力する場合の操作の流れを説明します。

本製品のPINコードを無線親機に入力する場合

P59「4. WPS画面」をお読みになり、本製品の設定モードを「Enrollee」に設定したうえで、生成された本製品側のPINコードを無線親機側に入力してください。このとき無線親機側の設定モードは「Registrar」に設定してください。

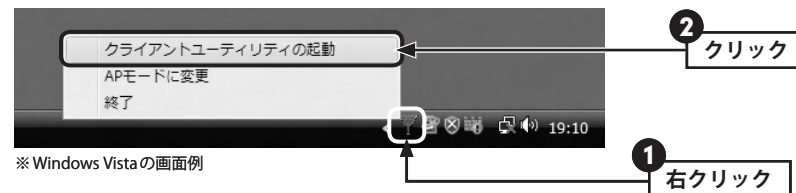
1 設定をはじめる前に、無線親機側の設定ユーティリティを表示するなどして、無線親機側のPINコードをメモします。

●無線親機側のPINコードをメモしてください。

無線親機のPINコード

・無線親機側のPINコードは「Enrollee」モードでのコードになります。
・無線親機側のPINコードの確認方法は、それぞれの説明書をお読みください。

2 本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。

3 デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「クライアントユーティリティ」のアイコンを右クリックし、［クライアントユーティリティの起動］をクリックします。

※Windows Vistaの画面例

・クライアントユーティリティの画面が表示されます。

4 ツールバーの［WPS］アイコンをクリックします。

・〈WPS〉画面が表示されます。

5 設定モードで「Registrar」を選択し、手順 **1** でメモしたPINコードを入力します。

6 無線親機側のWPS機能を実行します。

・実行方法については、無線親機の説明書をお読みください。

7 PIN をクリックします。

8 正しく接続できると、ステータスに「Progress >> 100%」と表示されます。

接続がうまくいかないとき

●100%にならない場合は、手順 **5** ～ **7** をくり返してください。

●100%になっても無線通信できない場合、「WPSプロファイルリスト」にある接続先のSSID（弊社製無線ルータをご使用の場合は“logitecuser”）を選択し、画面右側の 接続 をクリックしてください。

9 これで無線親機との接続作業は完了です。P45「4. インターネットに接続する」へ進みます。

・クライアントユーティリティの右上にある をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P29手順 **3** ）。

プロファイル機能について

本製品を接続したパソコンで、複数の無線親機に接続する場合は、無線LAN設定をプロファイルに保存することができます。〈WPS〉画面の プロファイルを追加 をクリックします。プロファイル機能の詳しい説明は、P52「プロファイルの登録方法」をお読みください。

手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）

WPS機能がない無線LAN環境では、無線親機に設定された無線LANの設定内容を本製品に設定します。ここでは、セキュリティ機能として、WEP、WPA-PSK、WPA2-PSKのいずれかを設定する手順も含めて説明しています。

1 **接続作業をはじめる前に、無線親機に設定されている無線LAN設定の項目を確認してメモします。**

●設定値メモ

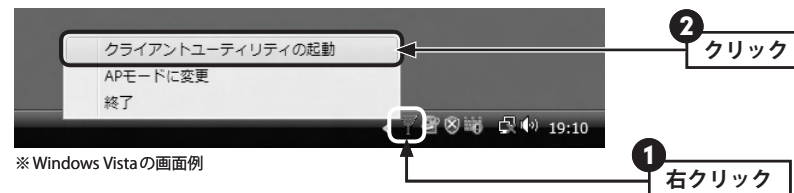
設定名	項目名	無線親機側の設定値
設定値A	SSID	
設定値B	認証方式	□Open　□Shared　□WPA※　□WPA-PSK □WPA2※　□WPA2-PSK
設定値C	暗号化	□Non（データを暗号化しない） □WEP　□TKIP　□AES
設定値D	WPA-PSK WPA2-PSKの場合	パスフレーズ＝
	WEPの場合	・キー番号＝ ・入力する文字形式　□ASCII文字 □Hexadecimal（16進数） ・暗号キー＝
IEEE802.1x認証を 使用する場合		ネットワーク管理者にセキュリティ設定を依頼するか、ネットワーク管理者に必要な設定内容をお尋ねください。 設定に関する説明はP38「802.1x認証について」をお読みください。

※セキュリティに関する項目は、セキュリティ機能を使用している場合にメモしてください。なお、各項目の選択条件によって、表示される設定名の項目は変化します。
※WPAおよびWPA2は、IEEE802.1x認証との組み合わせで、WPAまたはWPA2を使用する場合です。パスフレーズキーを使用する場合は、WPA-PSKまたはWPA2-PSKになります。

注意

ここに設定値を記載した場合は、第三者に見られないようにご注意ください。

2 **本製品を接続したパソコンを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。**

3 **デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「クライアントユーティリティ」のアイコンを右クリックし、［クライアントユーティリティの起動］をクリックします。**

※Windows Vistaの画面例

・クライアントユーティリティの画面が表示されます。

4 **リストに接続可能な無線親機の「SSID名」が表示されますので、接続したいSSIDを選択し、［プロファイルを追加］をクリックします。**

※リストに表示されている情報は例です。実際にご使用の環境で表示される内容とは異なります。

SSIDの秘匿機能をご使用の場合

「ブロードキャストSSID」「SSIDステルス」など、SSID名を設定ツールのリストに表示させない機能を使用している場合は、リストにSSID名が表示されません。この場合は以下の手順で接続する無線LANのSSIDなどを手動で入力してください。

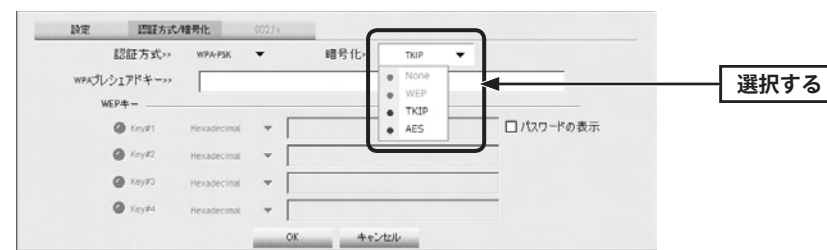
❶ツールバーの［プロファイル］をクリックします。
❷［追加］をクリックします。
❸「プロファイル名（例：My Home）」と「SSID（あらかじめメモした設定値Aの内容）」を入力します。※SSIDは大文字と小文字が区別されます。
❹手順 **5** へ進みます。

5 **必要に応じてプロファイル名を変更したり、オプションを設定します。**

・「プロファイル名」の初期値は「PROF（＋設定順の番号）」です。HOME、OFFICEなど分かりやすい名前に変更できます。
・その他のオプションの説明はP52「プロファイルの登録方法」をお読みください。

6 **【認証方式/暗号化】タブをクリックします。ただし、セキュリティ設定をしない場合は、手順 10 へ進みます。**

7 **あらかじめメモした「設定値B」を参考に「認証方式」を選択します。**

8 **あらかじめメモした「設定値C」を参考に「暗号化」の方式を選択します。**

※画面は「認証方式」でWPA-PSKを選択した場合の例

9 **暗号キーを入力します。「認証方式」の選択内容によって暗号キーの設定項目が異なります。**

注 意

802.1x認証をご使用の場合
ネットワーク管理者に設定を依頼するか、ネットワーク管理者の指示に従って、【802.1x】タブに表示される項目を設定してください。設定が終われば、手順 10 へ進みます。設定に関する説明はP38「802.1x認証について」をお読みください。

●WPA-PSK/WPA2-PSKを選択した場合

「WPA プレシェアードキー」に、あらかじめメモした「設定値D」の暗号キーを入力します。「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字が表示されます。

●WEPを選択した場合

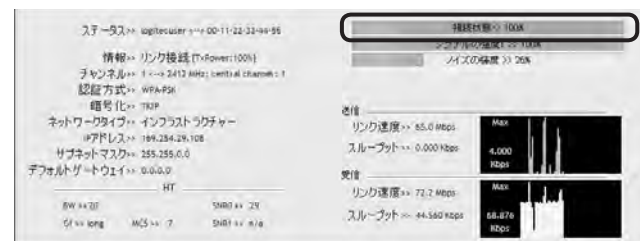
あらかじめメモした「設定値D」の内容を設定します。

❶ 使用するWEPキー番号をクリックします。
❷ 文字形式を選択します。ASCII文字を使用する場合は、[▼]ボタンをクリックして変更します。
❸ 暗号キーを入力します。「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字が表示されます。

注意　**「WEP」では、WEPキーの文字だけでなく、使用するキー番号、文字形式も無線親機と全く同じに設定する必要があります。**

10 設定が終われば OK をクリックします。

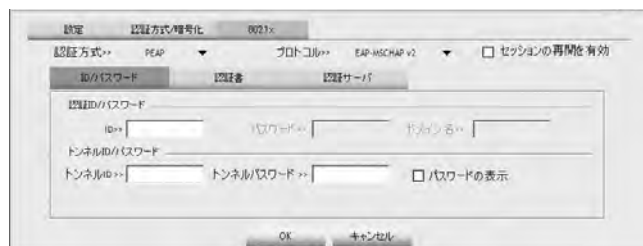
11 プロファイル画面が表示されます。プロファイルリストで設定したプロファイルを選択し、接続 をクリックします。

12 正常に接続できると、「接続状態 >> 100%」と表示されます。

13 これで無線親機との接続作業は完了です。P45「4.インターネットに接続する」へ進みます。

・クライアントユーティリティの右上にある [×] をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P33 手順 3 ）。

802.1x認証について

認証方式に「Open」を選択して暗号化に「WEP」を選択している場合、または認証方式に「WPA」「WPA2」を選択している場合は、「IEEE802.1x認証」を使用することができます。IEEE802.1x認証は、オフィスなど大規模なネットワークでユーザー認証を厳格に扱う場合に使用されます。
IEEE802.1x認証を使用する場合は、ネットワーク管理者に設定を依頼するか、ネットワーク管理者の指示に従って設定してください。

◆【802.1x】タブ

●IEEE802.1x認証を有効にするには

認証方式で「Open」または「WPA」、「WPA2」のいずれかを選択すると、「802.1x」が有効になりますので、□をクリックします。青色が有効(IEEE802.1x認証を使用する)な状態です。

●設定方法

❶【802.1x】タブをクリックし、必要な内容を設定します。
❷ 認証方式を選択します。
❸ 認証方式に「PEAP」を選択した場合に[プロトコル]を選択します。
❹ ネットワーク管理者の指示内容に従って、【ID/パスワード】、【認証書】、【認証サーバ】の各タブの必要な項目を入力します。
❺ 設定が終われば、 OK をクリックして設定を保存します。

Ad hocモードで接続する

無線親機を使わずに、無線子機同士で直接通信するAd hocモードでの接続方法について説明します。Ad hocモードの設定を始める前に、無線子機のドライバおよびクライアントユーティリティのインストールを完了しておいてください。なお、Ad hocモードでは、WPS機能は利用できません。

●Ad hocモードを設定するには

Ad hocモードで使用する場合は、必ずいずれかの無線子機について手動でSSIDやセキュリティ設定をおこなってください。
設定した1台の無線子機を起動し、他の無線子機は、クライアントユーティリティの「AP一覧」からSSIDを選択することで、セキュリティ設定を手動で入力するだけで設定を済ませることができます。

1　接続作業をはじめる前に、Ad hocモードで使用する無線LAN設定の項目を決めます。

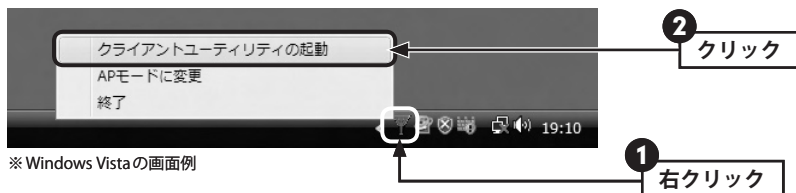
●設定値メモ

設定名	項目	設定値
設定値A	SSID	
設定値B	チャンネル	ch
設定値C	認証方式	□Open　□WPA2-PSK
設定値D	暗号化	□Non (データを暗号化しない) □WEP　□AES
設定値E	WPA2-PSKの場合	パスフレーズ＝
	WEPの場合	・キー番号＝ ・入力する文字形式　□ASCII文字 □Hexadecimal (16進数) ・暗号キー＝

※セキュリティに関する項目は、セキュリティ機能を使用している場合にメモしてください。なお、各項目の選択条件によって、表示される設定名の項目は変化します。
※Ad hocモードにおけるセキュリティ設定は、WEPまたはWPA2-PSK (AES)のいずれかになります。

注意

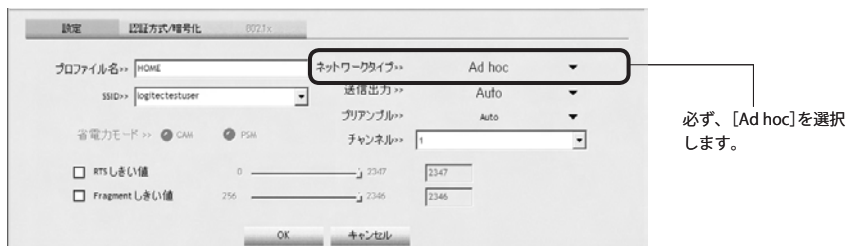
ここに設定値を記載した場合は、第三者に見られないようにご注意ください。

2 **デスクトップ画面の右下の「タスクトレイ」にある「クライアントユーティリティ」のアイコンを右クリックし、[クライアントユーティリティの起動]をクリックします。**

※Windows Vistaの画面例

・クライアントユーティリティの画面が表示されます。

3 **ツールバーの[プロファイル]を選択し、 追加 をクリックします。**

・設定画面が表示されます。

4 **「SSID」に設定値Aを手動で入力し、「ネットワークタイプ」で[Ad hoc]を選択します。**

※画面に表示されている情報は例です。実際にご使用の環境で表示される内容とは異なります。

5 **「手動設定で接続する(WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う)」の手順 5 ～ 9 (P34・35)を参考に、あらかじめ決めた設定値(P32の手順 1 の内容)を入力します。**

6 **設定が終われば、 OK をクリックし、設定を保存します。**

7 **プロファイルリストに登録されます。**

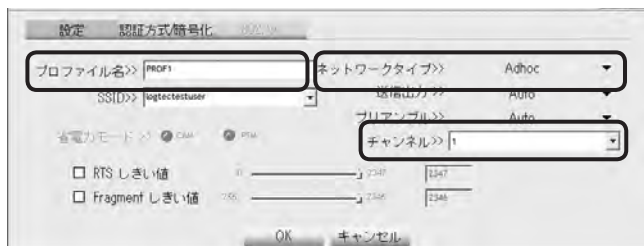
・これで1台目の無線子機の設定は完了です。

8 **他のパソコンに接続した無線子機のクライアントユーティリティを起動します。**

弊社製の無線子機でも、本製品と異なるクライアントユーティリティを使用している場合や、他社製品の無線子機の場合は、それぞれの説明書をお読みになり、P32手順 **1** の内容を設定してください。

9 **リストから手順 5 で設定した無線子機の「SSID（設定値A）」を選択し、プロファイルを追加 をクリックします。**

・設定画面が表示されます。

10 **おもな設定は自動的に接続相手の設定が反映されます。必要に応じて、プロファイル名や他の項目を設定します。**

・「ネットワークタイプ」は必ず［Adhoc］を選択します。
・SSIDとチャンネルは、接続相手と同じ設定にします。

11 **セキュリティ機能を設定している場合は、【認証方式/暗号化】タブをクリックし、セキュリティ機能を設定します。**

設定の方法について

「手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）」の手順 **7** ～ **9** （P35）を参考にセキュリティ機能を設定します。
Ad hocモードで使用できるセキュリティ機能は、WEPまたはWPA2-PSK（AES）の2種類だけです。

12 **すべての設定が終われば OK をクリックします。**

13 **プロファイル画面が表示されます。ここで設定したプロファイルをリストから選択し、接続 をクリックします。**

14 **正常に接続できると、「接続状態 >> 100%」と表示されます。**

15 **これでAd hocモードでの接続作業は完了です。**

・クライアントユーティリティの右上にある［×］をクリックすると画面を閉じます。再び表示するときは、Windows画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします（→P40手順 **2** ）。

4 インターネットに接続する

無線LANがつながれば、無線LANを経由してインターネットに接続できるかテストします。

1 **Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。**

2 **Webブラウザからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。**

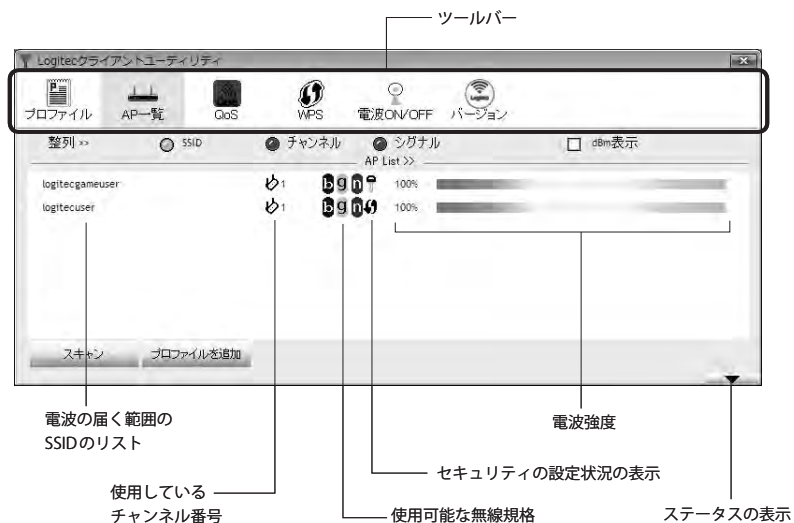
ロジテックWebサイト　http://www.logitec.co.jp/

Chapter 3

詳細設定 編

1 AP一覧（メイン）画面

クライアントユーティリティを起動すると、〈AP一覧〉画面が表示されます。〈AP一覧〉画面は、本製品が電波を受信可能な範囲にある無線APをSSID別にリストで表示する画面です。ここでは、〈AP一覧〉画面および画面の基本的な内容について説明します。

◆〈AP一覧〉画面

無線AP側で「ブロードキャストSSID」「SSIDステルス」などSSIDを秘匿する機能を有効にしているSSIDについては、画面に表示されません。

●ツールバーの説明

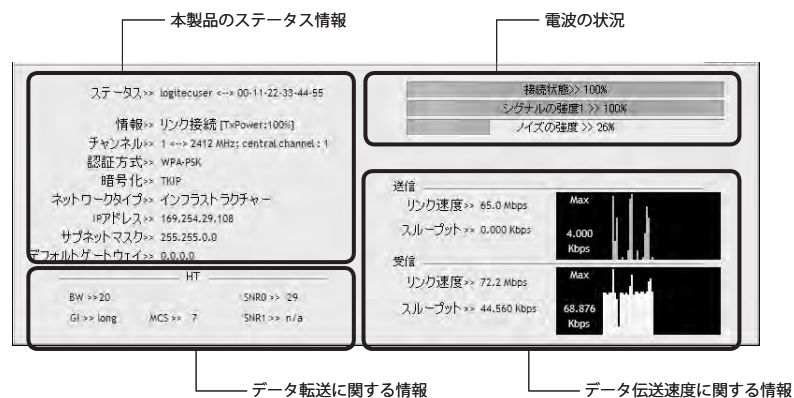
プロファイル	本製品のプロファイル機能により登録したプロファイルの情報を表示します（→P51）。
AP一覧	本製品が電波を受信可能な範囲にある無線APをSSID別にリストで表示します。
QoS	QoSを必要とするストリーミングなどのマルチメディアデータの転送規格である「WMM（Wi-Fi Multimedia）」について設定できます（→P57）。
WPS	WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。「設定ボタン」「PINコード」のいずれにも対応します（→P59）。
電波ON/OFF	このアイコンを押すたびに、本製品からの電波の発信をオン/オフにできます。電波の発信がオンのときは緑色、オフのときは赤色で表示されます。
バージョン	本製品の情報を表示します。本製品のアップデートやサポートで必要になることがあります（→P77）。

●項目の説明

整列	一覧に表示される接続先について、SSID、チャンネル、シグナルの3項目を、選択した項目で並び替え（ソート）ができます。
dBm表示	電波の受信感度を「%」の替わりに「dBm」で表示します。
スキャン	周囲の電波の状態を再スキャンします。リストが更新されます。
プロファイルを追加	リストで選択したSSIDの設定をプロファイルに保存します。プロファイルについてはP51「2. プロファイル 画面」を参照してください。

ステータスの表示

Logitecクライアントユーティリティの画面右下にある ▼ をクリックすると、本製品および接続中の無線LAN環境の詳細なステータスを表示することができます。

◆〈ステータス〉画面

2 プロファイル画面

本製品は、プロファイル名を付けることで、複数の無線LAN環境（SSIDやセキュリティ設定など）を保存することができます。接続先にあわせて、保存したプロファイルを切り替えることで、異なる無線LAN環境に簡単に接続できます。

◆〈プロファイル〉画面

●ボタンの説明

追加	新しいプロファイルを追加します。登録方法は、次ページの「プロファイルの登録方法」をお読みください。
編集	リストで選択したプロファイルを編集できます。編集方法については、次ページの「プロファイルの登録方法」を参考にしてください。
削除	リストで選択したプロファイルを削除します。
接続	リストで選択したプロファイル情報をもとに、接続先にアクセスします。

プロファイルの登録方法

プロファイルを登録する方法は、以下の3通りあります。

手動設定による登録	手動ですべての項目を入力します。
AP一覧より追加	AP一覧に表示されているSSIDについて、取得可能な情報を自動的に登録します。ただし、セキュリティ設定など自動では取得できない情報は、手動で入力する必要があります。 「AP一覧」から、プロファイルを登録したい接続先を選択し、[プロファイルを追加]ボタンをクリックします。「手動設定による登録」の手順を参考に不足の情報を設定してください。
WPSプロファイルリストより追加	WPS機能で取得した情報をプロファイルとして保存します。 〈WPS〉画面で「WPSプロファイルリスト」から、プロファイルを登録したい接続先を選択し、[プロファイルに追加]ボタンをクリックします。すべての情報が自動的に登録されます。必要に応じてプロファイル名をお好みの名称に変更してください。

手動設定による登録

ここでは、手動設定による登録方法について説明します。AP一覧より追加、WPSプロファイルリストより追加および登録済みのプロファイルを編集する場合も、この説明を参考に設定してください。

1 〈プロファイル〉画面を表示し、 追加 をクリックします。

2 【設定】タブの内容を設定します。

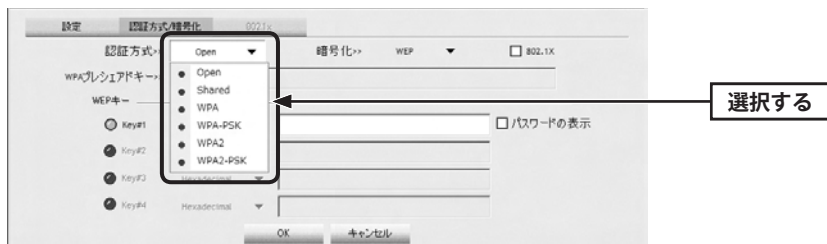
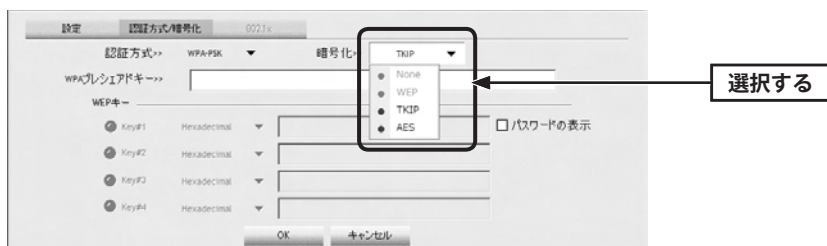
・無線親機に接続して使用している場合は、プロファイル名とSSIDの設定だけでかまいません。その他の項目は初期値が標準的な設定値になっています。
・無線子機同士で接続する場合は、さらに「ネットワークタイプ」を[Ad hoc]に変更します。

●項目の説明

プロファイル名	半角英数字でわかりやすいプロファイル名を入力します。
SSID	半角英数字でSSIDを入力します。大文字と小文字を区別して入力します。「SSID」の[▼]ボタンをクリックすると、現在接続可能なSSIDのリストから選択できます。
ネットワークタイプ	無線親機と接続する場合は[インフラストラクチャー]を、無線子機同士で直接接続する場合は[Ad hoc]を選択します。（初期値：インフラストラクチャー）
送信出力	「Auto（環境にあわせて自動調整）」、100%、75%、50%、25%、10%、Lowest（電波を出力しない）から選択できます。
プリアンブル	Ad hocモードの場合に設定できます。無線通信の同期をとるプリアンブル信号の種類（長さ）を選択します。「Auto（ショートとロングの両方に対応）」、「Long（ロングのみに対応）」から選択できます。
チャンネル	Ad hocモードの場合に1〜13chのうちから選択できます。
省電力モード	インフラストラクチャーモードの場合に設定できます。 （初期値：CAM） CAM：通常モードで使用します。 PSM：省電力モードで使用します。消費電力は抑えられますが、通信が不安定になる場合があります。

RTSしきい値	本製品がRTS（送信要求）信号を送信するパケットサイズを設定します。（初期値：2347）
Fragmentしきい値	フラグメントしきい値を設定します。パケットが設定サイズを超えた場合に分割して送信します。（初期値：2346）

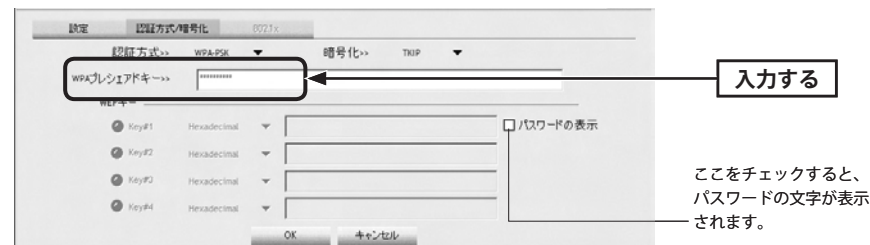
3　**【認証方式/暗号化】タブをクリックします。ただし、セキュリティ設定をしない場合は、手順 7 へ進みます。**

4　**「認証方式」を選択します。**

5　**「暗号化」の方式を選択します。**

※画面は「認証方式」でWPA-PSKを選択した場合の例

6　**暗号キーを入力します。「認証方式」の選択内容によって暗号キーの設定項目が異なります。**

注意

802.1x認証をご使用の場合
ネットワーク管理者に設定を依頼するか、ネットワーク管理者の指示に従って、【802.1x】タブに表示される項目を設定してください。設定が終われば、手順 7 へ進みます。設定に関する説明はP38「802.1x認証について」をお読みください。

●WPA-PSK/WPA2-PSKを選択した場合
「WPAプレシェアードキー」に暗号キーを入力します。「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字が表示されます。

●WEPを選択した場合

❶ 使用するWEPキー番号をクリックします。
❷ 文字形式を選択します。ASCII文字を使用する場合は、［▼］ボタンをクリックして変更します。
❸ WEPキーを入力します。「パスワードの表示」をチェックすると、入力した文字が表示されます。

注意

「WEP」では、WEPキーの文字だけでなく、使用するキー番号、文字形式も無線親機と全く同じに設定する必要があります。

7 **設定が終われば OK をクリックします。**

8 **プロファイル画面に新しいプロファイルが追加されます。接続を確認する場合は、プロファイルリストで設定したプロファイルを選択し、 接続 をクリックします。**

9 **正常に接続できると、「接続状態 >> 100%」と表示されます。**

3 QoS 画面

QoS（Quality of Service）は特定の通信について、あらかじめ使用する帯域を予約しておくことで、その通信の速度を保証する機能です。本製品ではQoSを必要とするストリーミングなどのマルチメディアデータ転送の規格である「WMM（Wi-Fi Multimedia）」を利用することができます。

この機能を利用するには、無線AP側にもこの機能があり、設定が有効になっている必要があります。

◆〈QoS〉画面

●項目の説明

WMM有効	WMM（Wi-Fi Multimedia）により安定したストリーミング通信をするための帯域を優先的に確保するかを設定します。（初期値：無効）
WMM-省電力有効	WMMの拡張機能である省電力設定ができます。WMMが有効な場合に設定可能です。消費電力を抑えながらWMMを利用できますので、モバイルでの利用に適しています。4種類のアクセスカテゴリ（AC）についての有効/無効が選択可能です。（初期値：無効）
Direct Link設定有効	指定したMACアドレスを持つ無線子機と直接データ転送する「Direct Link」機能について設定します。WMMが有効な場合に設定可能です。 ［Direct Link設定有効］を有効にした場合は、通信相手となる無線子機のMACアドレスを入力し、Direct Linkのタイムアウト値を設定します。この時間以内に通信相手とのリンクが確立しない場合は切断します。 （初期値：［Direct Link設定有効］無効、［MACアドレス］未入力、［タイムアウト値］60秒）

●MACアドレスの登録

Direct Link設定有効をオン（有効）にした場合は、MACアドレスの入力欄に2桁ずつMACアドレスとタイムアウト値を入力し、［適用］をクリックします。

・［設定解除］をクリックすると設定を解除します。

4 WPS画面

WPS（Wi-Fi Protected Setup）機能の設定をします。この機能を使うと「WPS設定ボタンを押す」または「PINコードを入力する」のいずれかの作業で、簡単にセキュリティ機能付きの無線LAN設定ができます。この機能を利用するには、接続する無線親機もWPS機能に対応している必要があります。

なお、ここでは画面の各項目について説明しています。WPS機能による無線親機との接続手順についてはP26「WPSの設定ボタンを使って接続する」をお読みください。

◆〈WPS〉画面

●項目およびボタンの説明

項目	説明
WPSアクセスポイントリスト	WPS機能に対応したアクセスポイント（無線親機）のリストを表示します。左からSSID、MACアドレス、使用チャンネル、セキュリティ設定の有無です。
WPSプロファイルリスト	WPS接続したプロファイルのリストを表示します。
PIN	PINコードを使用して無線親機と接続するときに、このボタンをクリックします。
WPS	WPS機能の設定ボタンを使用して無線親機と接続するときに、このボタンをクリックすることでWPS設定を実行できます。
WPS Associate IE WPS Probe IE	非暗号化通信/暗号化通信が混在している環境においても通信可能とする機能です。通常は変更する必要はありません。 （初期値：ともにオンで有効）
スキャン	周囲の電波の状態を再スキャンします。リストが更新されます。
設定情報	WPSの設定情報画面を表示します。

PINコード	現在の「設定モード（RegistrarまたはEnrollee）」におけるPINコードを表示します。 設定モードが[Enrollee]のときは、[更新]ボタンをクリックすることでPINコードを更新することができます。
設定モード	PINコードの設定モードを選択します。 Registrar：無線親機に設定されたPINコードを本製品に入力して、無線LANを確立する場合に選択します。 Enrollee：本製品に設定したPINコードを無線親機に入力して、無線LANのリンクを確立する場合に選択します。
詳細	プロファイルリストにあるプロファイルを選択しているときにボタンが有効になります。 このボタンをクリックすると、選択したWPSプロファイルの設定情報が画面下に表示されます（下記、欄外参照）。
接続	WPSプロファイルリストにあるプロファイルを選択し、このボタンをクリックすると、選択したプロファイルで接続します。複数のWPSプロファイルがある場合に、接続先を選ぶことができます。
Rotate	WPSプロファイルリストにプロファイルが複数ある場合、このボタンをクリックすることで、接続可能な次のプロファイルを自動的に選択して接続します。
切断	接続中または接続を試みているときに、このボタンをクリックすると、接続を切断または中止します。
プロファイルに追加	WPS機能に関係なく、すべてのプロファイルを保存する〈プロファイル〉画面（→P51）のプロファイルリストのほうにも登録します。

●WPSプロファイルの詳細画面

[詳細] をクリックすると、プロファイルの設定情報を表示します。

5 バージョン画面

本製品のハードウェア、設定ユーティリティ、ドライバのバージョンなど、本製品の情報を表示します。本製品のアップデートやサポートで必要になることがあります。

◆〈バージョン〉画面

●ボタンの説明

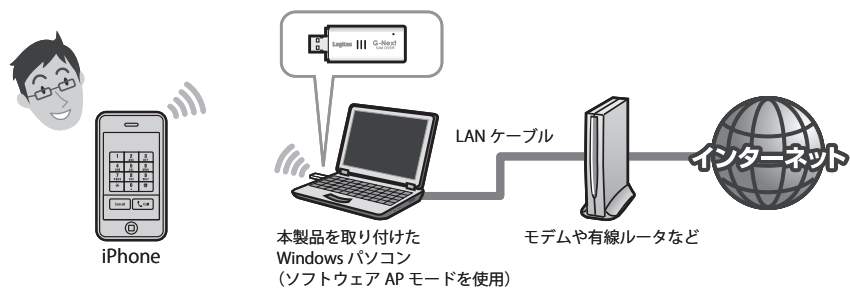
WWW.LOGITEC.CO.JP	ロジテックホームページに接続します。インターネットに接続できる環境が必要です。

Chapter 4

ソフトウェアAPモード編

1 ソフトウェア AP モードとは

本製品は、ソフトウェア AP モードを搭載しています。このモードは、本製品をソフトウェア的に無線親機（無線 AP）として使用するモードです。ゲーム機や iPhone 3G などを無線 LAN で接続するだけなら、無線ルータなどの無線親機を導入しなくても、簡単にインターネットに接続できます。

●例えば、本製品と iPhone を「Wi-Fi 接続」することで、パソコン経由でインターネットを利用できます。

LAN-WN11/U2DS（DS/Wii 用）および LAN-WN11/U2IPH（iPhone 3G/iPod touch 用）は、工場出荷時の初期値が「ソフトウェア AP モード」になっています。

ソフトウェア AP モードをご使用になる場合の注意点

●クライアントモードとソフトウェア AP モードを同時に使用することはできません。どちらか一方のモードを選択します。

●ソフトウェア AP モードはデータ伝送量が限られます。そのため、無線子機としてパソコンを使用するには適していません。DS や iPhone 3G といったデータ伝送量の比較的に少ない機器との接続にご使用ください。

●本製品に同時に接続する無線子機の台数は、3 台までを推奨します。それ以上の台数を接続すると伝送速度が低下する恐れがあります。なお、ご使用の環境によっては 3 台まででも、伝送速度が低下する場合があります。

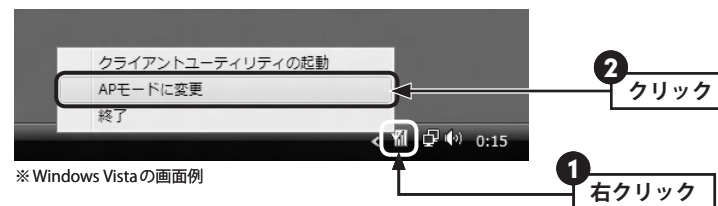
●WPS 機能は使用できません。無線 LAN 設定は手動でおこなってください。

2 ソフトウェア AP モードを使用する

本製品をパソコンに取り付けます。なお、初めて本製品をパソコンに接続するときは、あらかじめソフトウェアのインストール（P18）が必要です。

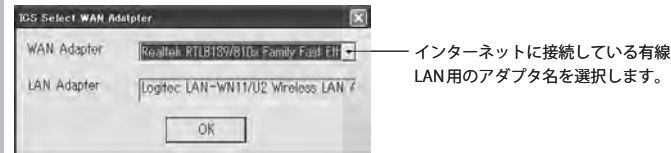
1　Windows 画面右下のタスクトレイのアイコンを確認します。

	すでにソフトウェア AP モードになっています。変更の必要はありません。手順 3 へ進みます。
	手順 2 へ進みます。無線親機と未接続の場合は、赤色のアンテナだけが表示されます。

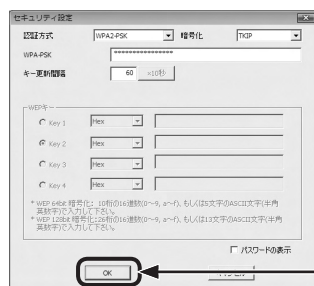
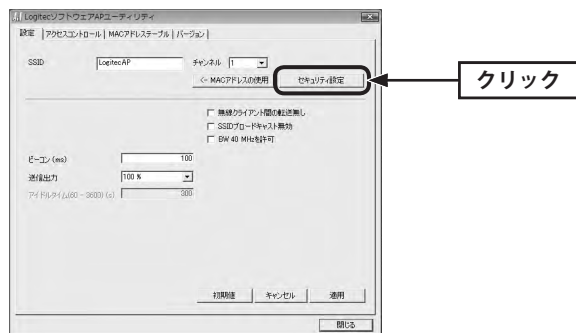
2　Windows 画面右下のタスクトレイの「クライアントユーティリティ」のアイコンを右クリックし、［AP モードに変更］をクリックします。

※ Windows Vista の画面例

・しばらくすると、ソフトウェア AP ユーティリティの画面が表示されます。

●以下の画面が表示された場合は

ご使用のパソコンからインターネットに接続するのに使用している有線 LAN 用のアダプタ名を「WAN Adapter」に指定し、［OK］をクリックします。

● Windows Vista で〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示された場合

［許可］をクリックします。

3 **セキュリティ機能を設定する場合は、 セキュリティ設定 をクリックします。セキュリティ設定をしない場合は、そのまま手順 4 へ進みます。**

セキュリティ機能の設定方法については、P68「3. ソフトウェアAPモードのセキュリティ設定」を参照してください。

・「暗号化」の初期値は「なし」です。
・セキュリティ設定が終われば、 OK をクリックします。

4 **閉じる をクリックして、画面を閉じます。**

5 **ゲーム機などの無線子機側から本製品に接続できるように設定をします。**

iPhone 3Gの画面例

本製品のSSID（初期値）	LogitecAP
本製品の暗号化（初期値）	なし

・本製品のSSIDの初期値は「LogitecAP」です。
・本製品の暗号化の初期値は「なし」です。
・無線子機側の設定は、無線子機側に付属の説明書をお読みください。

6 **無線子機の接続テストで正常に接続できたら作業は完了です。**

ソフトウェアAPユーティリティの各タブの詳細については、P72「4.画面の詳細機能」をお読みください。

3 ソフトウェアAPモードのセキュリティ設定

本製品をソフトウェアAPモードで使用する場合のセキュリティ機能を設定します。認証方式はオープン、シェアド、WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA-PSK/WPA2-PSKの5タイプ、暗号化方式はWEP、TKIP、AESの3タイプが選択できます。オープンおよびシェアド時はWEP、WPAおよびWPA2時は、TKIPまたはAESが選択できます。なお、ソフトウェアモードとクライアントモードのセキュリティ設定の設定値とは連動していません。

●設定値メモ

認証方式	□オープン　□シェアド　□WPA-PSK □WPA2-PSK　□WPA-PSK/WPA2-PSK
暗号化	□WEP　□TKIP　□AES
WPA-PSK/WPA2-PSKの場合	パスフレーズ＝
WEPの場合	Key番号＝ 文字形式　Hex（16進数）　ASCII 暗号＝

※ここに設定値を記載した場合は、第三者に見られないようにご注意ください。

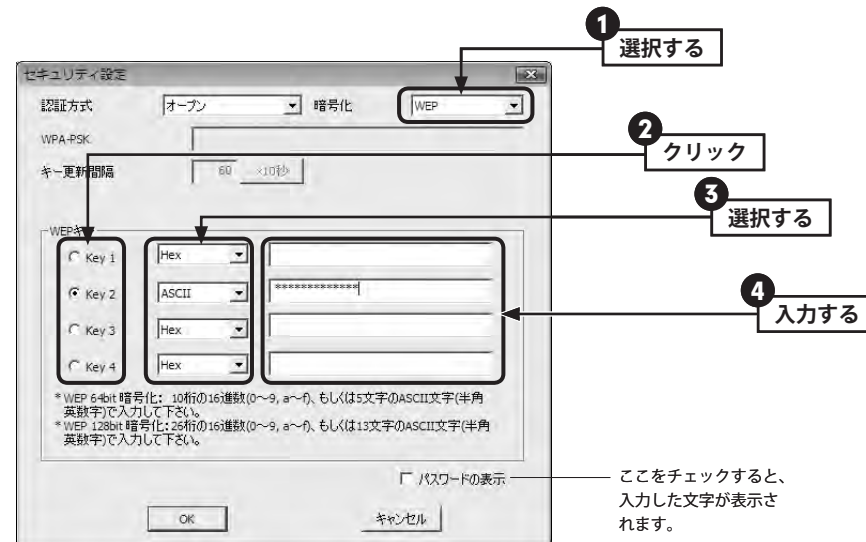
無線子機の対応モードを考慮してください
本製品は、WEP以外にWPA-PSKおよびWPA2-PSKが使用できますが、接続相手となる無線子機にWEPしか設定できない機器もあります。あらかじめ、ご確認のうえ、選択してください。

「WPA-PSK/WPA2-PSK」について
無線子機にWPA-PSK（AESまたはTKIP）とWPA2-PSK（AESまたはTKIP）が混在している場合に、この認証方式を選択しておくと、いずれの無線子機とも接続できます。

1 【設定】タブにある セキュリティ設定 をクリックします。

2 認証方式を選択します。

- ［▼］をクリックするとリストが表示されます。
- オープンまたはシェアドを選択した場合は、手順 3 へ進みます。
- WPA-PSK、WPA2-PSK、WPA-PSK/WPA2-PSKのいずれかを選択した場合は、手順 4 へ進みます。

3 WEPの設定をします。設定が終われば、手順 5 へ進みます。

❶［WEP］を選択します。
❷ 使用するWEPキー番号をクリックします。
❸ 文字形式を選択します。［▼］ボタンをクリックし、［Hex（16進数）］か［ASCII（半角英数字）］を選択します。
❹ 暗号キーを入力します。

暗号キーの内容

WEP64	Hex	10桁の0〜9、a〜fで構成された半角英数字です。大文字と小文字は区別されません。
	ASCII	5文字の半角英数字です。大文字と小文字が区別されます。
WEP128	Hex	26桁の0〜9、a〜fで構成された半角英数字です。大文字と小文字は区別されません。
	ASCII	13文字の半角英数字です。大文字と小文字が区別されます。

4 **WPA タイプの設定をします。設定が終われば、手順 5 へ進みます。**

❶［TKIP］［AES］［両方（TKIP と AES）］の中から選択します。
❷ パスフレーズを入力します。パスフレーズは半角英数字で入力します。大文字と小文字が区別されます。
❸ キー更新間隔を指定します。通常は変更する必要はありません。

5 **設定内容を確認し、 OK をクリックします。**

6 **設定が保存され、画面が閉じます。**

・これでセキュリティ設定は完了です。
・ソフトウェア AP ユーティリティの画面を閉じる場合は、 閉じる をクリックします。

このあとは
本製品に接続するゲーム機などの無線子機のセキュリティ設定は、ここで設定した内容と同じになるように設定してください。設定内容が異なると本製品に接続することはできません。

4 画面の詳細機能

ソフトウェア APユーティリティの各タブの内容について説明します。

設定タブ

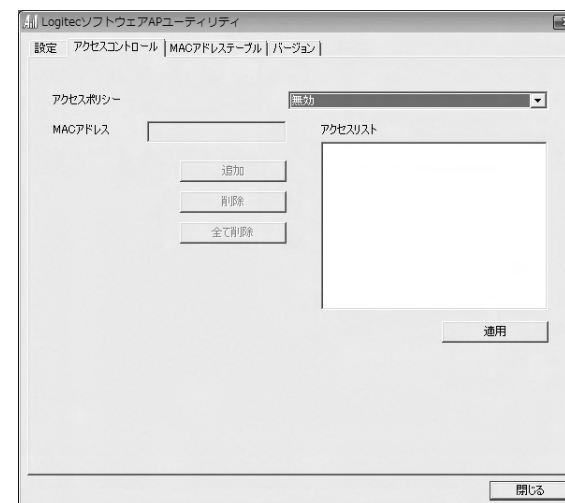
【設定】タブは、本製品をソフトウェア APモードで使用するときの基本的なことを設定する画面です。

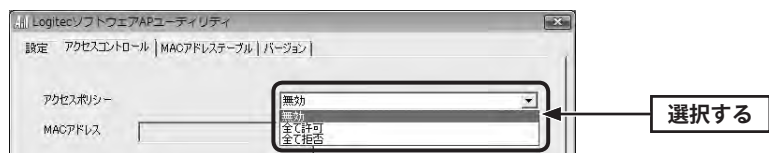
設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして、設定を保存してください。

●項目およびボタンの説明

SSID	本製品のSSIDを入力します。初期値は「LogitecAP」です。
チャンネル	必要に応じて1〜13の中から使用するチャンネルを選択します。
［MACアドレスの使用］ボタン	SSIDに無線子機のMACアドレスを使用したい場合は、このボタンをクリックします。 MACアドレスが自動的に入力されます。
［セキュリティ設定］ボタン	ソフトウェア APモード時のセキュリティ機能を設定します。詳しくはP68「3.ソフトウェア APモードのセキュリティ設定」をお読みください。
無線クライアント間の転送無し	本製品に複数の無線子機が同時に接続している場合に、本製品を中継して無線子機同士のデータ転送を許可するかを設定します。チェックするとデータ転送を不許可にします。
SSIDブロードキャスト無効	無線子機のユーティリティの自動検索で本製品が見つかってもSSIDを表示しない機能です。チェックすると、SSIDがステルスになります。 チェックをはずすと、SSIDが子機から見えます。
BW 40 MHzを許可	11n（Draft）のチャンネル幅を設定します。11n（Draft）対応の無線クライアントと接続する場合、この項目をチェックすることで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線LANとの干渉などによって伝送速度が変わらない場合もあります。
ビーコン	本製品が発信するビーコンの間隔を設定します。
送信出力	送信出力を設定します。電波が遠くまで届かないようにしたい場合は、［▼］をクリックし、リストから適切な値を選択します。
アイドルタイム	本製品では設定を変更することはできません。
［初期値］ボタン	Logitecソフトウェア APユーティリティの設定内容をすべて初期化します。

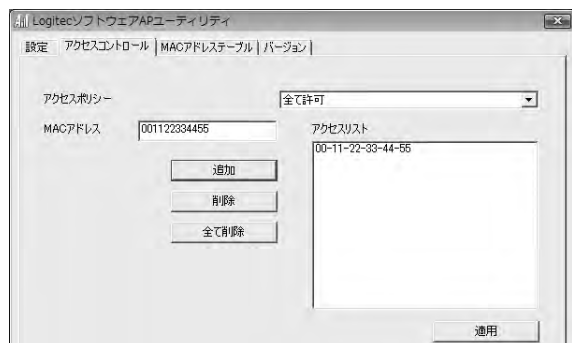
アクセスコントロール タブ

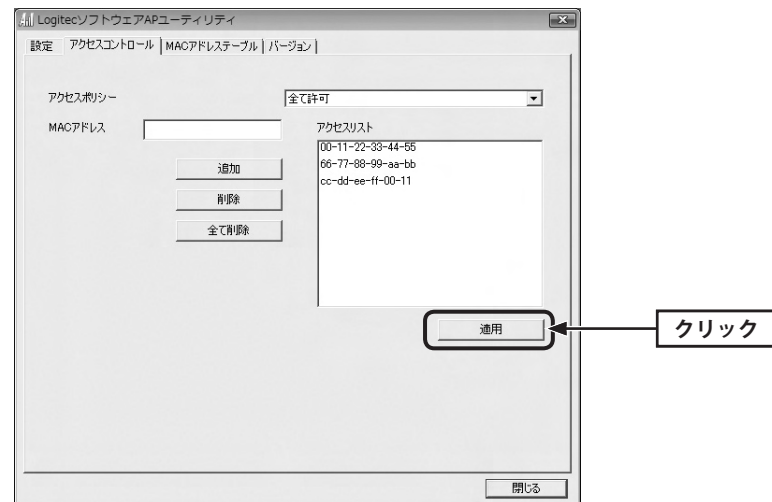
本製品にアクセスできる無線子機を、MACアドレスを使って制限することができます。

設定手順

1 ［アクセスポリシー］で、条件を選択します。

全て許可	登録したMACアドレスを持つ無線子機の接続を許可します。MACアドレスが未登録の無線子機は接続できません。
全て拒否	登録したMACアドレスを持つ無線子機の接続を拒否します。MACアドレスが未登録の無線子機は接続できます。

2 ［MACアドレス］に、登録するアドレスを入力し、［追加］をクリックします。

・例のようにMACアドレスの英数字だけを半角で入力します。
・「：」「-」等は不要です。大文字と小文字は区別されません。

3 「アクセスリスト」に登録されます。

・複数のMACアドレスを登録する場合は、手順 1 2 をくり返します。

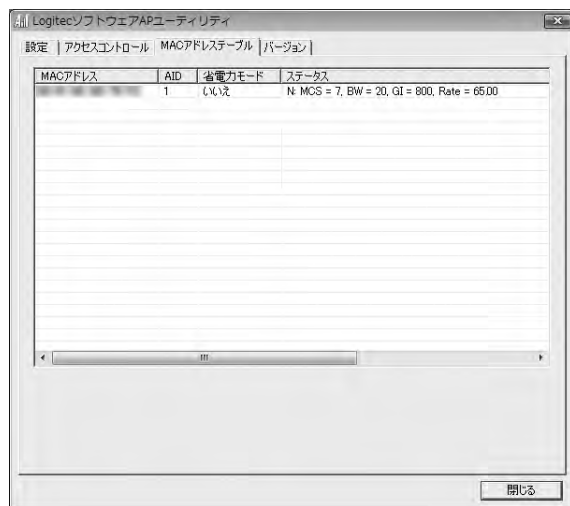
4 MACアドレスの登録が完了したら、［適用］をクリックします。

・［適用］をクリックしないと、設定内容は保存されません。

アクセスリストの編集

アクセスリストに登録したMACアドレスを削除したり、修正したりできます。

・［削除］ボタン：アクセスリストで選択したMACアドレスだけを削除します。
・［全削除］ボタン：アクセスリストのすべてのMACアドレスを削除します。
・アクセスリストのMACアドレスをダブルクリックすると、MACアドレスを修正できるようになります。修正後に［変更］ボタンをクリックします。［キャンセル］ボタンをクリックすると、修正内容をキャンセルします。

MACアドレステーブル タブ

本製品にアクセスしている無線子機の情報を表示します。

●項目の説明

MACアドレス	無線クライアントのMACアドレスを表示します。
AID	接続しているチャンネルを表示します。
省電力モード	省電力モードの使用状態を表示します。
ステータス	各種ステータス情報を表示します。

バージョン タブ

本製品のユーティリティ、ドライバなどのバージョンや、IPアドレス関連の情報などを表示します。本製品のアップデートやサポートで必要になることがあります。

●ボタンの説明

WWW.LOGITEC.CO.JP	ロジテックホームページに接続します。インターネットに接続できる環境が必要です。

Appendix

付録編

1 本製品のさまざまな使いかた

本製品（LAN-WN11/U2シリーズ）は、ご使用の目的にあわせて、4タイプのモデルがあります。それぞれのモデルは、設定を変更していただくことで、他のタイプとしても使用できます。各タイプでの設定方法の流れを説明していますので、別のタイプで使用したい場合は、この説明を参考に、かんたんセットアップガイド、ユーザーズマニュアル等をお読みになって、設定を変更してください。なお、各説明はすでに使用中の状態からの変更方法を説明しています。

注 意

設定を変更すると、現状の環境では、使用できなくなります。

弊社ホームページの「ダウンロード」より、LAN-WN11/U2シリーズの各タイプ別の「かんたんセットアップガイド」のPDFをダウンロードすることができます。設定の参考にしてください。

パソコン用の無線子機として使う

LAN-WN11/U2と、同等の機能で使えるように設定します。無線親機のある環境で本製品をパソコンに取り付け、パソコンから無線親機に無線LANで接続できるようにします。

本製品を取り付けたパソコン

無線親機　　モデムなど

LAN-WN11/U2PSPの設定変更方法

1　LAN-WN11/U2用の説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、「LAN-WN11/U2」の「かんたんセットアップガイド」をダウンロードします。

2　ユーティリティとドライバを確認する

Windows Vistaをご使用の場合のみ（Windows XP/2000をご使用の場合は 3 へ）

①XLink Kai専用ユーティリティとドライバをインストールしている場合は、いったんドライバを削除します。アンインストール後、パソコンから本製品を取りはずします。
※ドライバの削除方法については、このマニュアルのP101「4. ユーティリティとドライバの削除方法」をお読みください。

②「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」のP2「STEP1 ソフトウェアをインストールしましょう」を参考にユーティリティとドライバをインストールします（Windows通常ドライバをインストール）。

③本製品をパソコンのUSBポートに差し込み、ドライバのインストールを完了してください。
※ドライバのインストール方法は、「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」を参照してください。

3　PSP用のオプションをオフにする

「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」のP3「本製品のPSPオプションを設定する」を参考に、本製品のプロパティの【詳細設定】タブにある「PSP Xlink Mode」を「Disable」に変更します。

4　無線親機と接続する

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2」の「かんたんセットアップガイド」のP3「STEP3 無線LANで接続しましょう」の手順 3 からお読みになり、無線親機と接続してください。

LAN-WN11/U2DSおよびLAN-WN11/U2IPHの設定変更方法

1　LAN-WN11/U2用の説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、「LAN-WN11/U2」の「かんたんセットアップガイド」をダウンロードします。

2　通信モードを切り替える

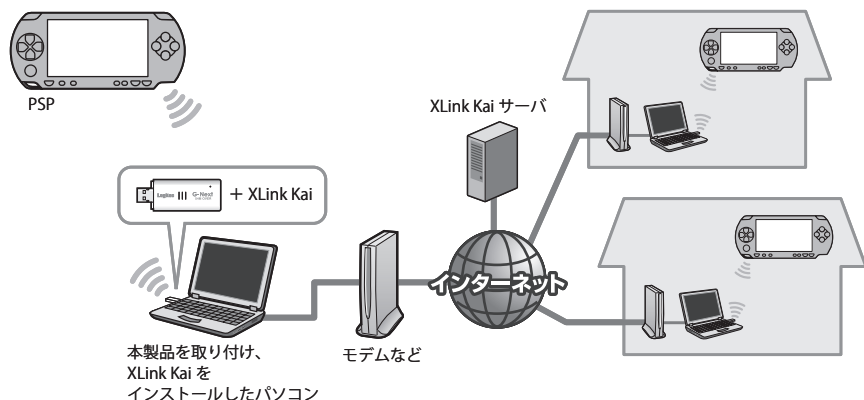
Windowsのデスクトップ画面右下にあるタスクトレイの または アイコンを右クリックし、［クライアントユーティリティの起動］をクリックします。

3　無線親機と接続する

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2」の「かんたんセットアップガイド」のP3「STEP3 無線LANで接続しましょう」の手順 3 からお読みになり、無線親機と接続してください。
※無線親機がWPS機能に対応していない場合は、P4「手動で無線LANに接続する場合」をお読みください。

PSP＋XLink Kaiで使う

LAN-WN11/U2PSPと、同等の機能で使えるように設定します。有線LANでインターネットと接続されたパソコンに本製品を取り付けます。パソコンにXLink Kaiというソフトウェアをインストールすることで、PSPからパソコンとインターネットを経由して、日本中そして世界中の人と対戦ゲームなどを楽しめるようになります。

対応OS：Windows Vista（SP1以降）、Windows XP（SP3以降）

LAN-WN11/U2の設定変更方法

1　LAN-WN11/U2PSP用のソフトウェアと説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、LAN-WN11/U2PSPの「ユーティリティ&ドライバ」と、「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」および「B PSP & XLink Kai設定ガイド」をダウンロードします。

2　ユーティリティとドライバを確認する

Windows Vistaをご使用の場合のみ（Windows XP/2000をご使用の場合は 3 へ）

①ユーティリティとドライバを削除します。アンインストール後、パソコンから本製品を取りはずします。
　※ドライバの削除方法については、このマニュアルのP101「4. ユーティリティとドライバの削除方法」をお読みください。
②ダウンロードしたユーティリティ&ドライバを起動し、メニュー画面にある「Windows VistaでのXLink Kai専用ドライバのインストール」をクリックし、ドライバをインストールします。
③本製品をパソコンのUSBポートに差し込み、ドライバのインストールを完了してください。
　※ドライバのインストール方法は、「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」を参照してください。

3　現在の無線LAN設定を確認する

現在、セキュリティ機能を設定している、アドホックモードで使用しているなど、初期値より設定を変更している場合は、設定を初期値に戻しておきます。
・セキュリティ設定：認証方式「Open」、暗号化「Non」
・ネットワークタイプ：インフラストラクチャー

4　PSPオプションを設定する

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」のP3「本製品のPSPオプションを設定する」を読んで、本製品のプロパティの【詳細設定】タブにある「PSP Xlink Mode」を「Enable」に変更します。

5　PSPとXLink Kaiの設定をする

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2PSP」の「B PSP & XLink Kai設定ガイド」をお読みになり、PSPとXLink Kaiの設定をしてください。

LAN-WN11/U2DSおよびLAN-WN11/U2IPHの設定変更方法

1　LAN-WN11/U2PSP用のソフトウェアと説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、LAN-WN11/U2PSPの「ユーティリティ&ドライバ」と、「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」および「B PSP & XLink Kai設定ガイド」をダウンロードします。

2　ユーティリティとドライバを確認する

Windows Vistaをご使用の場合のみ（Windows XP/2000をご使用の場合は 3 へ）

①ユーティリティとドライバを削除します。アンインストール後、パソコンから本製品を取りはずします。
　※ドライバの削除方法については、このマニュアルのP101「4. ユーティリティとドライバの削除方法」をお読みください。
②ダウンロードしたユーティリティ&ドライバを起動し、メニュー画面にある「Windows VistaでのXLink Kai専用ドライバのインストール」をクリックし、ドライバをインストールします。
③本製品をパソコンのUSBポートに差し込み、ドライバのインストールを完了してください。
　※ドライバのインストール方法は、「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」を参照してください。

3　通信モードを切り替える

Windowsのデスクトップ画面右下にあるタスクトレイの または アイコンを右クリックし、［クライアントユーティリティの起動］をクリックします。

4　PSPオプションを設定する

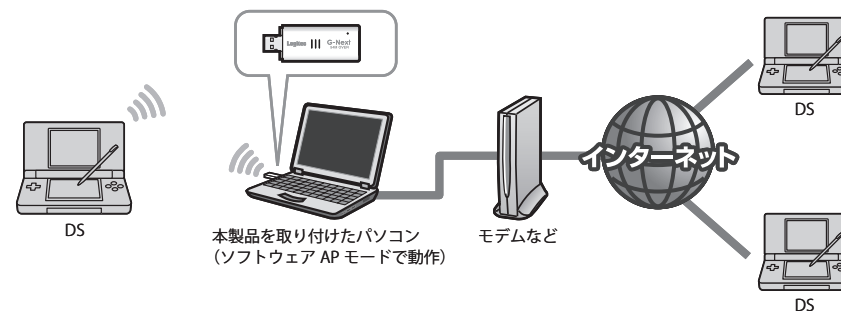
1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」のP3「本製品のPSPオプションを設定する」を読んで、本製品のプロパティの【詳細設定】タブにある「PSP Xlink Mode」を「Enable」に変更します。

5　PSPとXLink Kaiの設定をする

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2PSP」の「B PSP & XLink Kai設定ガイド」をお読みになり、PSPとXLink Kaiの設定をしてください。

DSやWiiで使う

LAN-WN11/U2DSと、同等の機能で使えるように設定します。有線LANでインターネットと接続されたパソコンに本製品を取り付けます。本製品をソフトウェアAPモードに設定することで、DSやWiiからパソコンとインターネットを経由して、日本中そして世界中の人と対戦ゲームなどを楽しめるようになります。

DS Liteの使用イメージ

LAN-WN11/U2の設定変更方法

1　LAN-WN11/U2DS用の説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、「LAN-WN11/U2DS」の「かんたんセットアップガイド」をダウンロードします。

2　通信モードを切り替える

Windowsのデスクトップ画面右下にあるタスクトレイの またはアイコンを右クリックし、［APモードに変更］をクリックします。ユーティリティ画面は閉じてください。

3　DS LiteやWiiと接続する

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2DS」の「かんたんセットアップガイド」のP3・4「STEP3 DS/Wiiと無線LANで接続しましょう」をお読みになり、DS LiteやWiiと接続してください。

LAN-WN11/U2PSPの設定変更方法

1　LAN-WN11/U2DS用の説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、「LAN-WN11/U2DS」の「かんたんセットアップガイド」をダウンロードします。

2　ユーティリティとドライバを確認する

Windows Vistaをご使用の場合のみ（Windows XP/2000をご使用の場合は 3 へ）

①XLink Kai専用ユーティリティとドライバをインストールしている場合は､いったんドライバを削除します。アンインストール後、パソコンから本製品を取りはずします。
　※ドライバの削除方法については、このマニュアルのP00「4 ユーティリティとドライバの削除方法」をお読みください。
②「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」のP2「STEP1 ソフトウェアをインストールしましょう」を参考にユーティリティとドライバをインストールします（Windows通常ドライバをインストール）。
③本製品をパソコンのUSBポートに差し込み、ドライバのインストールを完了してください。
　※ドライバのインストール方法は､「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」を参照してください。

3　PSP用のオプションをオフにする

「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」のP3「本製品のPSPオプションを設定する」を参考に、本製品のプロパティの【詳細設定】タブにある「PSP Xlink Mode」を「Disable」に変更します。

4　通信モードを切り替える

Windowsのデスクトップ画面右下にあるタスクトレイの または アイコンを右クリックし、［APモードに変更］をクリックします。ユーティリティ画面は閉じてください。

5　DS LiteやWiiと接続する

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2DS」の「かんたんセットアップガイド」のP3・4「STEP3 DS/Wiiと無線LANで接続しましょう」をお読みになり、DS LiteやWiiと接続してください。

LAN-WN11/U2IPHの設定変更方法

1　LAN-WN11/U2DS用の説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、「LAN-WN11/U2DS」の「かんたんセットアップガイド」をダウンロードします。

2　セキュリティ設定を確認する

iPhone 3GやiPod touchでセキュリティ設定を使用している場合、WEPであればDSおよびWiiでもそのまま使用できます。WEPの暗号キーをメモしてください。WEP以外のセキュリティ機能を使用している場合、DSおよびDS Liteからは接続できません。WEPまたはセキュリティなしに変更してください。

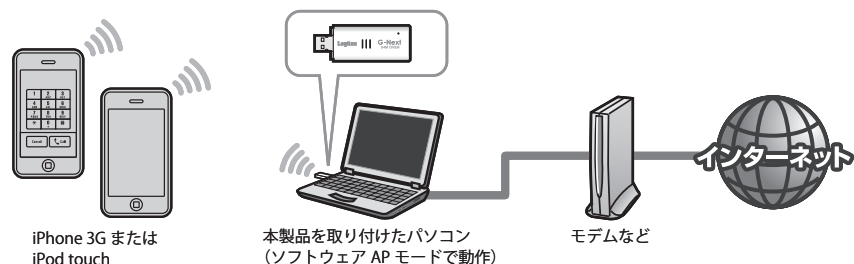
3　DS LiteやWiiと接続する

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2DS」の「かんたんセットアップガイド」のP3・4「STEP3 DS/Wiiと無線LANで接続しましょう」をお読みになり、DS LiteやWiiと接続してください。

WEPによるセキュリティ設定をご使用の場合

「LAN-WN11/U2DS」の「かんたんセットアップガイド」には、セキュリティ設定の説明がありません。本製品側の設定方法は、このマニュアルのP68「3. ソフトウェアAPモードのセキュリティ設定」を、DSおよびWii側の設定方法は、ゲーム機およびゲームソフトの説明書を参考にしてください。

iPhone 3G や iPod touch で使う

LAN-WN11/U2IPH と、同等の機能で使えるように設定します。有線LANでインターネットと接続されたパソコンに本製品を取り付けます。本製品をソフトウェア AP モードに設定することで、iPhone 3G や iPod touch からパソコンを経由して、インターネット接続が楽しめるようになります。

LAN-WN11/U2 の設定変更方法

1　LAN-WN11/U2IPH 用の説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、「LAN-WN11/U2IPH」の「かんたんセットアップガイド」をダウンロードします。

2　通信モードを切り替える

Windowsのデスクトップ画面右下にあるタスクトレイの　または　アイコンを右クリックし、［APモードに変更］をクリックします。ユーティリティ画面は閉じてください。

3　iPhone 3G や iPod touch と接続する

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2IPH」の「かんたんセットアップガイド」のP4「STEP3 iPhone/iPod touchを無線LANで接続しましょう」をお読みになり、iPhone 3GまたはiPod touchと接続してください。

LAN-WN11/U2PSP の設定変更方法

1　LAN-WN11/U2IPH 用の説明書をダウンロードする

弊社ホームページの「ダウンロード」より、「LAN-WN11/U2IPH」の「かんたんセットアップガイド」をダウンロードします。

2　ユーティリティとドライバを確認する

Windows Vistaをご使用の場合のみ（Windows XP/2000をご使用の場合は 3 へ）

①XLink Kai 専用ユーティリティとドライバをインストールしている場合は、いったんドライバを削除します。アンインストール後、パソコンから本製品を取りはずします。
　※ドライバの削除方法については、このマニュアルのP101「4. ユーティリティとドライバの削除方法」をお読みください。
②「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」のP2「STEP1 ソフトウェアをインストールしましょう」を参考にユーティリティとドライバをインストールします（Windows通常ドライバをインストール）。
③本製品をパソコンのUSBポートに差し込み、ドライバのインストールを完了してください。
　※ドライバのインストール方法は、「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」を参照してください。

3　PSP 用のオプションをオフにする

「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」のP3「本製品のPSPオプションを設定する」を参考に、本製品のプロパティの【詳細設定】タブにある「PSP Xlink Mode」を「Disable」に変更します。

4　通信モードを切り替える

Windowsのデスクトップ画面右下にあるタスクトレイの　または　アイコンを右クリックし、［APモードに変更］をクリックします。ユーティリティ画面は閉じてください。

5　iPhone 3G や iPod touch と接続する

1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2IPH」の「かんたんセットアップガイド」のP4「STEP3 iPhone/iPod touchを無線LANで接続しましょう」をお読みになり、iPhone 3GまたはiPod touchと接続してください。

LAN-WN11/U2DSの設定変更方法

1	LAN-WN11/U2IPH用の説明書をダウンロードする
	弊社ホームページの「ダウンロード」より、「LAN-WN11/U2IPH」の「かんたんセットアップガイド」をダウンロードします。

2	セキュリティ設定を確認する
	DSやWiiでセキュリティ設定を使用している場合、その設定をiPhone 3GやiPod touchに反映させる必要があります。WEPの暗号キーをメモしてください。

3	DS LiteやWiiと接続する
	1 でダウンロードした「LAN-WN11/U2IPH」の「かんたんセットアップガイド」のP4「STEP3 iPhone/iPod touchを無線LANで接続しましょう」をお読みになり、iPhone 3GまたはiPod touchと接続してください。 **WEPによるセキュリティ設定をご使用の場合** 「LAN-WN11/U2IPH」の「かんたんセットアップガイド」には、セキュリティ設定の説明がありません。本製品側の設定方法は、このマニュアルのP68「3. ソフトウェアAPモードのセキュリティ設定」を、iPhone 3GおよびiPod touch側の設定方法は、それぞれの説明書を参考にしてください。

2 ネットワーク設定マニュアルの読み方

本製品に付属のCD-ROMの中にはWindowsのOSごとのネットワーク設定の方法について説明したPDF版「ネットワーク設定マニュアル」を収録しています。

●マニュアルの概要

このマニュアルは、ネットワークの基本的なことを説明した「基礎知識編」とOSごとのネットワーク設定の方法を説明した「各OS編」に分かれています。必要なファイルだけをA4サイズの用紙に印刷してご利用いただくと便利です。
なお、カラー対応になっていますのでカラープリンタで印刷していただくと、より分かりやすくなります。

ネットワーク設定マニュアルは有線LANでの説明になっていますが、無線LANでもネットワーク設定の方法は同じです。

●利用方法

①付属のCD-ROMをドライブに入れ、セットアップメニューを表示します。
②セットアップメニューの「FAQ」をクリックし､FAQ（Logitecサポート情報）を表示します。
③FAQトップページの一番下に「ネットワーク設定マニュアル」のリンクがありますので、クリックして説明をお読みください。

マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を表示し、「manual」フォルダに収録されているファイルを直接ダブルクリックしてもご覧いただけます。

●「manual」フォルダの内容

「manual」フォルダには､本製品のマニュアルも収録されています。ネットワーク設定マニュアルのファイルは次のとおりです。

・ネットワーク設定マニュアルの利用法（.PDF）
・1-基礎知識編（.PDF）
・2-Windows_XP編（.PDF）
・3-Windows_ME_98編（.PDF）
・4-Windows_2000編（.PDF）
・5-Windows_Vista編（.PDF）

●Adobe Acrobat Readerをお持ちでない場合

「ネットワーク設定マニュアル」をお読みになるには、Acrobat（Adobe）Readerが必要です。お持ちでない場合は付属のCD-ROMからインストールしてください。

①マイコンピュータなどから付属のCD-ROMの内容を表示します。
②「acrobat_reader」フォルダがありますので、その内容を表示します。
③フォルダ内のプログラムアイコンをダブルクリックします。
④画面のメッセージに従ってインストールしてください。

3 トラブルシューティング

LAN-WN11/U2の場合

無線LAN関係のトラブル

添付CD-ROMのセットアップメニューから閲覧できる「FAQ」もご参照ください。

ネットワークの設定について

ネットワーク設定やIPアドレスを手動で割り当てる方法については、付属のCD-ROMにあるPDF版「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください。「ネットワーク設定マニュアル」の使い方についてはP91「2. ネットワーク設定マニュアルの読み方」をお読みください。

●無線LANがつながらない。

①通信モードを正しく設定していますか？　Ad hocモードの場合は、プロファイルの設定で、Ad hocモードを使用するように設定する必要があります。P39「Ad hocモードで接続する」を参照してください。

②ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？　プロトコル（TCP/IPなど）、クライアント（Microsoft Networkクライアントなど）、サービス（Microsoft Network共有サービスなど）を環境に応じて設定する必要があります。

③ルータなどのDHCPサーバ機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。手順については、「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P91）。

◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。その場合は指示に従ってください。

③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMACアドレスフィルタリング設定は正しいですか？　セキュリティ設定は、無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MACアドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

●Ad hocモードでつながらない。

無線クライアントのうち1台は、必ずSSIDを設定してください。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつながらない。

①セキュリティ設定は、同じ無線LANネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。

②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。

◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。

③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPSがつながらない。

①もう一度初めからやりなおしてください。

②PINコードによる設定の場合、PINコードの設定モードや、入力したPINコードが誤っていることがあります。もう一度初めからやりなおしてください。

WPS機能を利用した接続に失敗する場合

WPS機能を利用した接続に繰り返し失敗する場合は、手動で接続してください。手動での接続方法については、P32「手動設定で接続する（WEP/WPA-PSK/WPA2-PSKを使う）」をお読みください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

①TCP/IPプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。OSの[ネットワーク]画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。手順については､「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P91）。

②DHCPサーバ機能を使用していない場合は、IPアドレスを手動で割り付けてください。OSのTCP/IPのプロパティにある[IPアドレス]タブで設定します。手順については､「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P91）。

③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認のうえ、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンタの共有ができない。

①ネットワーク設定をしましたか？
無線LANが正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンタの共有はできません。「ネットワーク設定マニュアル」に詳しい説明がありますので参考にしてください（→P91）。

②ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドライブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。
・利用者がアクセスを許可するユーザーとして登録されていますか。ユーザーが登録されているか確認してください。
・利用者が共有フォルダにアクセスできるように設定していますか？　また、アクセス内容を正しく設定していますか。NTFSフォーマットのハードディスクの場合は、さらにセキュリティ設定でも利用者を登録しておく必要があります。

●Windows XP/2000でネットワーク設定ができない。

Administrator権限でログオンしていますか？　ネットワークの各種設定にはAdministrator権限がないと設定できない項目があります。

●Windows Vistaで［ユーザーアカウント制御］ダイアログが表示される。

Windows Vistaでは、パソコンの利用者が意図しない設定変更を防ぐため、重要な設定項目を変更するときに［ユーザーアカウント制御］ダイアログを表示して確認を促すようになっています。意図した操作であれば［続行］ボタンまたは［許可］をクリックしてそのまま操作を続けて問題ありません。

LAN-WN11/U2PSPの場合

●専用マニュアルをご用意ください
弊社ホームページの「ダウンロード」より、LAN-WN11/U2PSP用の「A セットアップガイド」および「B PSP & XLink Kai設定ガイド」をダウンロードしてご利用ください。

●すべての内容を確認しても、うまくいかないとき
いったん本製品のユーティリティとドライバを削除し、はじめからやり直してください。削除方法はP101「4. ユーティリティとドライバの削除方法」をお読みください。

●サポートについて
PSP、ゲーム、およびXLink Kaiに関する詳細なお問い合わせは、弊社ではサポートいたしかねます。

●PSPとつながらない。

①本製品とPSPの間の距離が長すぎませんか。本製品の近くで接続してみてください。

②Windows Vistaの場合、専用ドライバをインストールしていますか。「LAN-WN11/U2PSP」のユーティリティ＆ドライバを起動したときに表示されるメニュー画面で「Windows VistaでのXLink Kai専用ドライバのインストール」をクリックし、ドライバをインストールします。
※間違ったドライバをインストール済みの場合は、先に削除してください（→P101「4. ユーティリティとドライバの削除方法」）。

③本製品のプロパティの【詳細設定】タブにある「PSP Xlink Mode」を「Enable」に変更していますか。「LAN-WN11/U2PSP」の「A セットアップガイド」のP3「本製品のPSPオプションを設定する」を参考に設定してください。

④セキュリティ設定をしている場合、設定内容が同じになっていますか。設定を確認し、同じ内容になるようにしてください。

⑤通信モードが「ソフトウェアAPモード」になっていませんか。Windowsデスクトップ画面右下のタスクトレイのアイコンを確認してください。

	ソフトウェアAPモードです。PSPに接続することはできません。このアイコンを右クリックし、［クライアントユーティリティの起動］を選択してください。
	クライアントモードです。通信モードを変更する必要はありません。

●インターネットに接続できない。ゲームに参加できない。

①本製品を取り付けたパソコンは、有線LANでインターネットに接続できる状態ですか。パソコンからインターネットに接続できるか確認してください。PSPからゲームに参加するには、本製品を取り付けたパソコンがインターネットに接続できる環境になっている必要があります。

②XLink Kaiをインストールしましたか。PSPからインターネットに接続し、ゲームに参加するには、XLink Kaiをインストールする必要があります。また、XLink Kaiを使用するには、公式サイトでユーザー登録をする必要があります。詳しくはゲームソフトの説明書をお読みください。

③XLink Kaiを起動したのち、ゲーム本体機種、ゲームなどを選択し、参加者が集まっているアリーナに参加する必要があります。詳しくはゲームソフトの説明書をお読みください。

④PSPのゲーム上で、オンラインで参加できるよう設定しましたか。ゲームによって参加するための設定の名称が異なります。「オンライン集会所」「ゲーム部屋を作る」「ゲームに参加する」などの名称があります。詳しくはゲームソフトの説明書をお読みください。

LAN-WN11/U2DSの場合

●専用マニュアルをご用意ください
弊社ホームページの「ダウンロード」より、LAN-WN11/U2DS用の「かんたんセットアップガイド」をダウンロードしてご利用ください。

●すべての内容を確認しても、うまくいかないとき
いったん本製品のユーティリティとドライバを削除し、はじめからやり直してください。削除方法はP101「4. ユーティリティとドライバの削除方法」をお読みください。

●サポートについて
DS/Wii、ゲームに関する詳細なお問い合わせは、弊社ではサポートいたしかねます。

●DS/Wiiとつながらない。

①本製品とDS/Wiiの間の距離が長すぎませんか。本製品の近くで接続してみてください。

②セキュリティ設定をしている場合、設定内容が同じになっていますか。設定を確認し、同じ内容になるようにしてください。

③通信モードが「クライアントモード」になっていませんか。Windowsデスクトップ画面右下のタスクトレイのアイコンを確認してください。

	ソフトウェアAPモードです。通信モードを変更する必要はありません。
	クライアントモードです。DS/Wiiに接続することはできません。このアイコンを右クリックし、［APモードに変更］を選択してください。

●インターネットに接続できない。ゲームに参加できない。

本製品を取り付けたパソコンは、有線LANでインターネットに接続できる状態ですか。パソコンからインターネットに接続できるか確認してください。DS/Wiiからゲームに参加するには、本製品を取り付けたパソコンがインターネットに接続できる環境になっている必要があります。

LAN-WN11/U2IPHの場合

●専用マニュアルをご用意ください
弊社ホームページの「ダウンロード」より、LAN-WN11/U2IPH用の「かんたんセットアップガイド」をダウンロードしてご利用ください。

●すべての内容を確認しても、うまくいかないとき
いったん本製品のユーティリティとドライバを削除し、はじめからやり直してください。削除方法はP101「4. ユーティリティとドライバの削除方法」をお読みください。

●サポートについて
iPhone 3G/iPod touchに関する詳細なお問い合わせは、弊社ではサポートいたしかねます。

●iPhone 3G/iPod touchとつながらない。

①本製品とiPhone 3G/iPod touchの間の距離が長すぎませんか。本製品の近くで接続してみてください。

②セキュリティ設定をしている場合、設定内容が同じになっていますか。設定を確認し、同じ内容になるようにしてください。

③通信モードが「クライアントモード」になっていませんか。Windowsデスクトップ画面右下のタスクトレイのアイコンを確認してください。

	ソフトウェアAPモードです。通信モードを変更する必要はありません。
	クライアントモードです。iPhone 3G/iPod touchに接続することはできません。このアイコンを右クリックし、[APモードに変更]を選択してください。

●インターネットに接続できない。

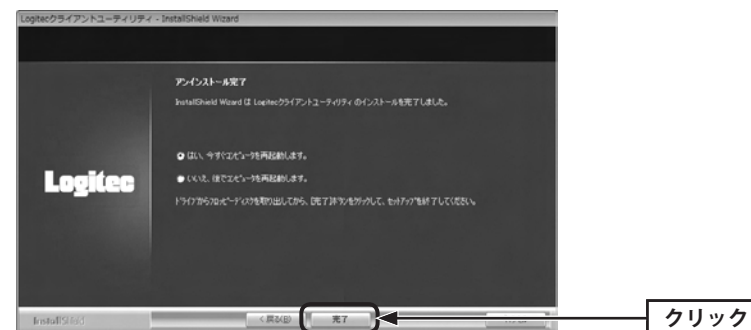
本製品を取り付けたパソコンは、有線LANでインターネットに接続できる状態ですか。パソコンからインターネットに接続できるか確認してください。iPhone 3G/iPod touchからインターネットに接続するには、本製品を取り付けたパソコンがインターネットに接続できる環境になっている必要があります。

4 ユーティリティとドライバの削除方法

1 [スタート]→[(すべての) プログラム]→[Loigtec]→[クライアントユーティリティの削除]を選択します。

Windows Vistaの場合
[クライアントユーティリティの削除]を実行すると、〈ユーザーアカウント制御〉画面が表示されますので、 続行 をクリックします。

2 はい をクリックします。

3 アンインストール完了のメッセージが表示されます。 完了 をクリックして、パソコンを再起動します。

5 補足事項

補足1：Windowsのユーザー権限の確認方法

Windowsにログオン中の現在のユーザー権限は、以下の方法で確認することができます。ログオン中のユーザーに管理者権限がない場合は、管理者権限のあるユーザーでログオンするか、現在のユーザーの権限を変更してください。

●Windows Vistaの場合

❶ Windowsのデスクトップ画面左下の［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。
・ リストの右上に現在ログオン中のアカウント名が表示されますのでメモします。
❷ コントロールパネルの「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」→［ユーザーアカウント］の順でクリックします。
❸〈ユーザーアカウントの変更〉画面が表示されます。
❹ 画面右に現在のアカウントと権限が表示されます。
❺ 現在、設定されているアカウントが表示されます。ログオンしているアカウントが「Administrator」になっていることを確認します。

●Windows XPの場合

❶ Windowsのデスクトップ画面左下の［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。
・リストの右上に現在ログオン中のアカウント名が表示されますのでメモします。

（カテゴリ表示の場合）

❷［ユーザーアカウント］をクリックします。
❸「コントロールパネルを選んで実行します」の［ユーザーアカウント］をクリックします。
❹「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。

（クラシック表示の場合）

❷［ユーザーアカウント］をダブルクリックします。
❸「変更するアカウント」の下に、アカウントが一覧で表示されます。ログオンしているアカウントが「コンピュータの管理者」となっていることを確認します。
❹ アカウントの変更（アカウントを変更する）をクリックします。

●Windows 2000の場合

コントロールパネルの［ユーザーとパスワード］でご確認ください。

補足2：本製品を取り付けたパソコンのIPアドレスを知りたいとき

本製品のクライアントユーティリティからIPアドレスを知ることができます。

❶ クライアントユーティリティを起動します。
❷ クライアントユーティリティの右下にある ▼ をクリックします。
・〈ステータス〉画面が表示されます（→P49）。
❸「IPアドレス」に、無線クライアントを取り付けたパソコンのIPアドレスが表示されます。

補足3：ドライバとユーティリティの削除方法

本製品のドライバおよびクライアントユーティリティを削除（アンインストール）したい場合は、以下の手順でアンインストールしてください。ドライバを残し、クライアントユーティリティだけをアンインストールすることはできません。

❶ Windowsのデスクトップ画面左下の［スタート］→［すべてのプログラム］→［Logitec］→［クライアントユーティリティの削除］を順に選択します。
❷ 画面のメッセージに従ってドライバとクライアントユーティリティを削除します。
❸ Windowsを再起動します。

6 基本仕様

■おもな仕様

インターフェイス	USB2.0/1.1
規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b/ARIB STD-T66
周波数帯域	2.412〜2.472GHz（中心周波数）
チャンネル	1〜13ch
伝送方式	11g：OFDM方式　11b：DS-SS方式
データ転送速度（理論値）	G-Next適用時：最大150Mbps 11g：54/48/36/24/18/12/9/6Mbps　11b：11/5.5/2/1Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャー/アドホック
アンテナ方式	内部基板アンテナ1本
送信出力	10mW/MHz以下
セキュリティ	WEP（64/128ビット）、WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（AES）
設定方式	WPS（ソフトウェア方式）
環境条件	温度：0〜40℃、湿度：20〜80%（結露なきこと）
消費電力（定格）	230mA
外形寸法/質量	幅19.5×奥行56.0×高さ10.0mm/約10g

●対応機種：以下のOSに対応したWindowsマシンまたはIntel CPUを搭載するMac

LAN-WN11/U2 LAN-WN11/U2DS LAN-WN11/U2PSP LAN-WN11/U2IPH	クライアントモード：Windows Vista（SP1以降）、XP（SP3以降）、2000（SP4以降）、Mac OS 10.4、Mac OS 10.5 ソフトウェアAPモード：Windows Vista（SP1以降）、XP（SP3以降） XLink Kaiアダプタ：Windows Vista（SP1以降）、XP（SP3以降）、Mac OS 10.5

■ソフトウェアAPモード時の仕様

初期値	暗号化設定	本製品は、工場出荷時の暗号化設定は「なし（未設定）」です。
	SSID ※1	LogitecAP
WPS	非対応	
接続可能な子機台数	3台まで（推奨）※2	

※1 ソフトウェアAPモードは、Windows Vista（SP1以降）、Windows XP（SP3以降）でのみご使用いただけます。
※2 ご使用の環境によっては3台以下になる場合があります。

IEEE802.11g/11b準拠 USB2.0対応 無線LANアダプタ　LAN-WN11/U2シリーズ
Windows版ユーザーズマニュアル

発行
2008年12月　日　第1版